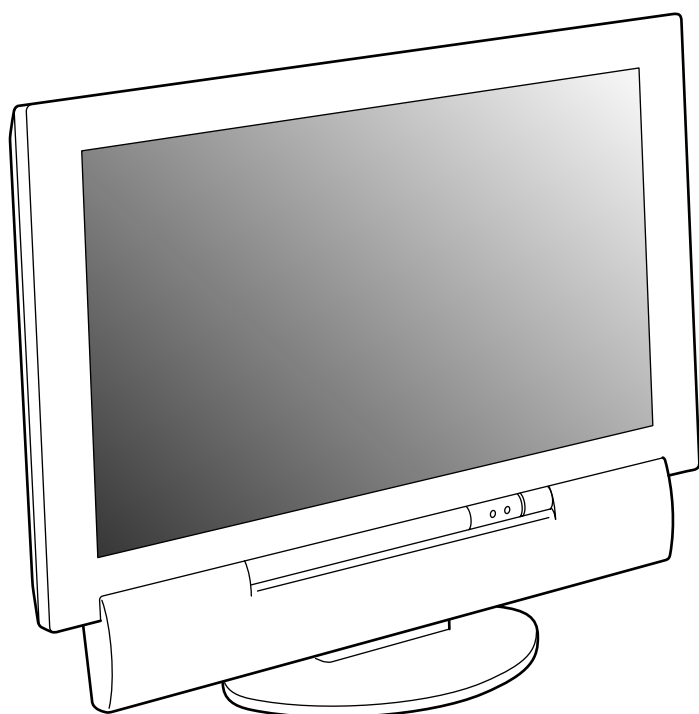
# 取扱説明書

## 液晶マルチメディアモニター

形名 IL-26M1
IT-26M1

はじめに
接続と準備
共通の操作
PCモード
テレビ／ビデオモード
その他の機能
付録

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**ご使用の前に、「安全にお使いいいただくために」を必ずお読みください。**
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFTカラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は付属品も含め日本国内(AC100V)用です。海外では使えません。

高調波ガイドライン適合品

**電波障害に関するご注意**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。
そのようなときは、次の点にご注意ください。
※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

**本書の表記について**
※ 本書では、Microsoft Windows XP Home EditionとMicrosoft Windows XP Professionalを「Windows XP」、Microsoft Windows 2000を「Windows 2000」、Microsoft Windows Millennium Editionを「Windows Me」、Microsoft Windows 98を「Windows 98」、Microsoft Windows 95を「Windows 95」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
※ Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
※ そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

**お願い**
※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

# 安全にお使いいただくために

**絵表示について**　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**　人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

**絵表示の意味**　（絵表示の一例です。）

 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

## ⚠ 警告

**電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。**電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

**雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

**発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。**

**風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。**火災の原因になります。

**水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。**火災や感電の原因になります。

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の原因になります。

## ⚠ 警告

**アース接続してください。**アース接続がされないで万一、故障した場合は感電の恐れがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

## ⚠ 注意

**あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしないでください。**排気孔や通風孔をふさぐと、熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

## ⚠注 意

**電源コードは、必ず付属のものを使用してください。**付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

**電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

**電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。**タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

**火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。**
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間、旅行などで長時間使用しないときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

**ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。**落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

**直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。**発熱や発火の原因になることがあります。

**硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。**破損してけがの原因になることがあります。

**改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。**火災や感電、けがの原因になることがあります。

## ⚠注 意

**健康のために、次のことをお守りください。**
- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

**移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。**コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

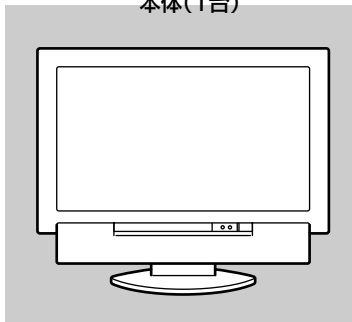
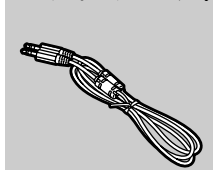
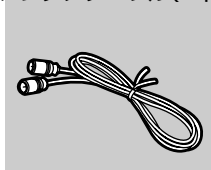
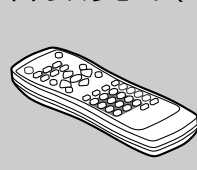
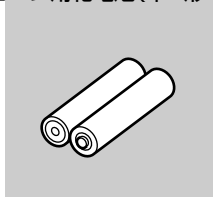
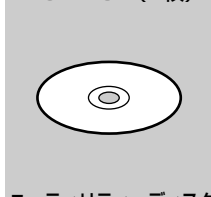
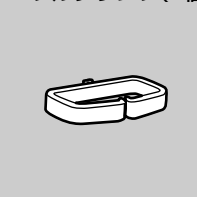
**年に一度を目安に内部を清掃してください。(もよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。)**
内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

**電池の使用にあたっては、次のことをお守りください。**使い方を誤ると、破裂や発火の原因になることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因にもなります。
- プラス(+)とマイナス(−)の向きは、表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
- 消耗したときは、速やかに交換してください。
- 漏れた液が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 端子をショートさせないでください。
- 水や火の中に入れたり、分解をしないでください。
- プラス(+)極とマイナス(−)極には触らないでください。汗や油などで電池ケース内の端子が腐食することがあります。
- 指定以外の電池を使用しないでください。

# もくじ

# 付属品を確認する



箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

- 取扱説明書(1部)
- 保証書(1部)

※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※ CD-ROM内のユーティリティーの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

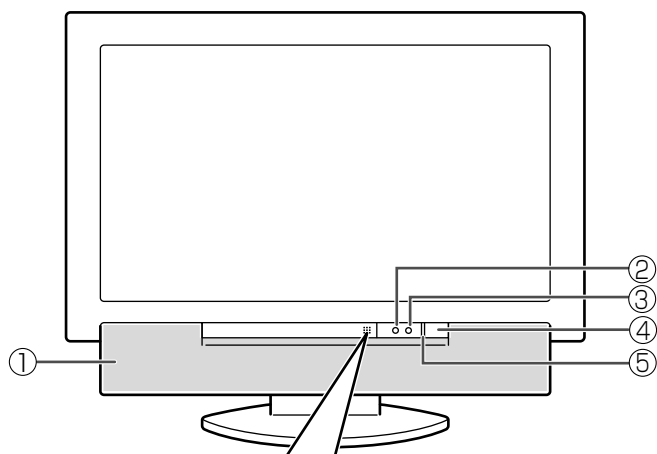
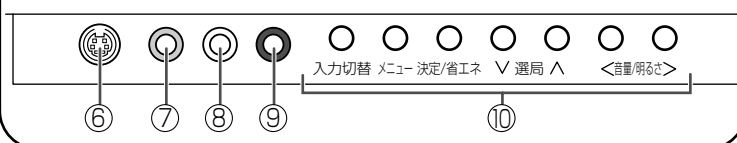
## ■ 別売品のご案内

| 品　　　名 | 形　名 | 希望小売価格 |
|---|---|---|
| ディスプレイ(デジタル信号)ケーブル　DVI-D ―― DVI-D | NL-C04J | 3,990円（税抜価格3,800円） |

※ 当社製品販売店にて品名、形名を指定のうえ、お買い求めください。
※ 希望小売価格は2004年11月現在のものです。
※ 希望小売価格は予告なく変更することがあります。

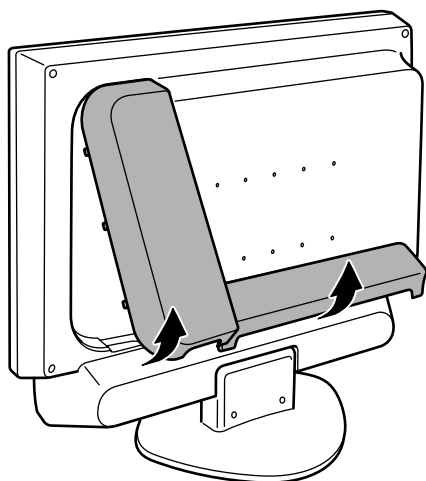
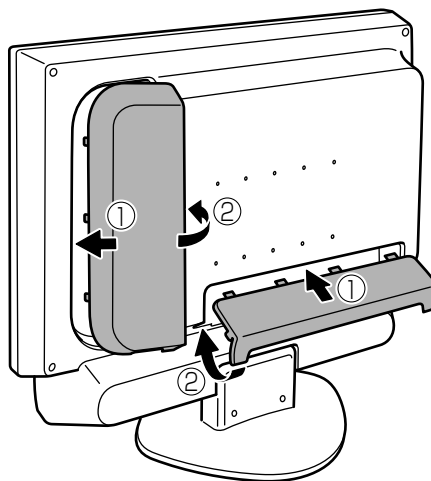
# 各部の名前

## 本体

### ■ 前面

① スピーカー
② ヘッドホン端子
③ リモコン受光部
④ 電源ボタン

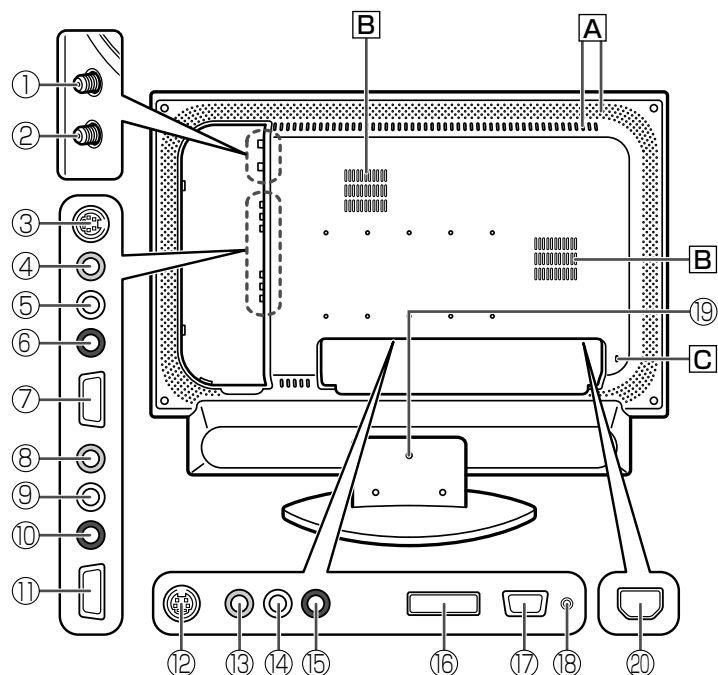
⑤ 電源ランプ
- 緑色点灯　：通常表示時
- 赤色点灯　：待機時
- オレンジ色点灯：パワーセーブ時（PCモードのみ）
- 消灯　：電源オフ

⑥ S2映像入力端子
⑦ 映像入力端子
⑧ 音声入力端子 - 左
⑨ 音声入力端子 - 右
（⑥〜⑨：ビデオ3入力）
⑩ 操作ボタン

### 端子カバー

※ ケーブルをはさまないようご注意ください。

# 本体

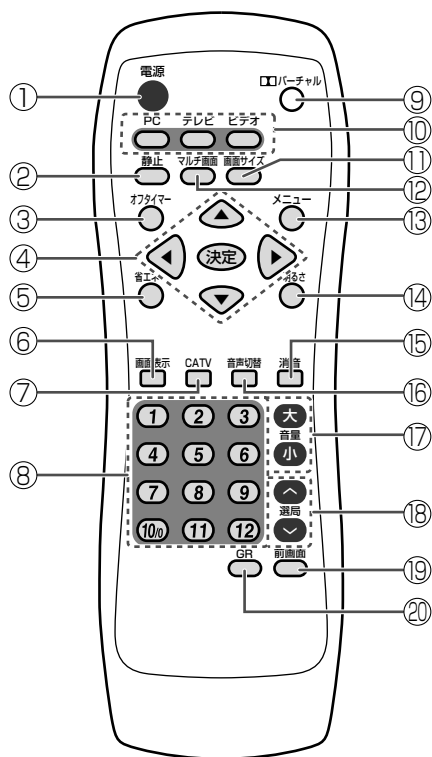


## ■ 背面・右側面

| | | |
|---|---|---|
| ① | アンテナ入力端子 | |
| ② | アンテナ出力端子 | |
| ③ | S2映像入力端子 | ビデオ1入力 |
| ④ | 映像入力端子 | ビデオ1入力 |
| ⑤ | 音声入力端子 - 左 | ビデオ1入力 |
| ⑥ | 音声入力端子 - 右 | ビデオ1入力 |
| ⑦ | D4映像入力端子 | ビデオ1入力 |
| ⑧ | 映像入力端子 | ビデオ2入力 |
| ⑨ | 音声入力端子 - 左 | ビデオ2入力 |
| ⑩ | 音声入力端子 - 右 | ビデオ2入力 |
| ⑪ | D4映像入力端子 | ビデオ2入力 |
| ⑫ | S2映像出力端子 | ビデオ出力 |
| ⑬ | 映像出力端子 | ビデオ出力 |
| ⑭ | 音声出力端子 - 左 | ビデオ出力 |
| ⑮ | 音声出力端子 - 右 | ビデオ出力 |

⑯ PCデジタルRGB入力端子(DVI-D24ピン)
⑰ PCアナログRGB入力端子(ミニD-sub15ピン)
⑱ PC音声入力端子
⑲ ケーブルクランプ取り付け穴(9ページ)
⑳ 電源端子

**A 通風孔**
**B 排気孔**
機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔や排気孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

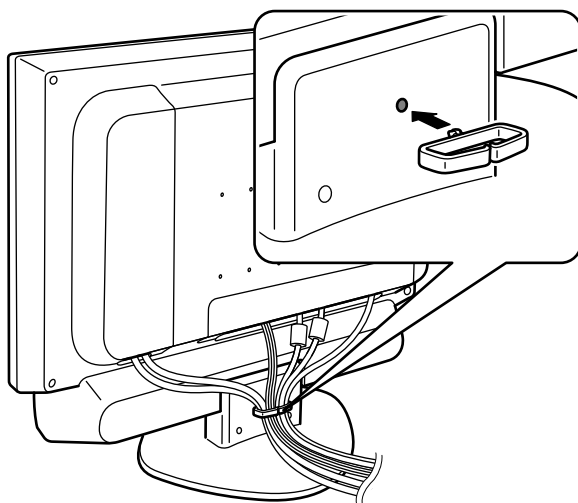
**C 盗難防止ホール( K )**
市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。
※ 盗難防止ホールは、Kensington社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

## リモコン

① 電源ボタン
② 静止ボタン
③ オフタイマーボタン
④ ▲▼◀▶ボタンと決定ボタン
⑤ 省エネボタン
⑥ 画面表示ボタン
⑦ CATVボタン
⑧ チャンネルボタン
⑨ ドルビーバーチャルボタン
⑩ 入力切替ボタン
⑪ 画面サイズボタン
⑫ マルチ画面ボタン
⑬ メニューボタン
⑭ 明るさボタン
⑮ 消音ボタン
⑯ 音声切替ボタン
⑰ 音量ボタン
⑱ 選局ボタン
⑲ 前画面ボタン
⑳ GR(ゴーストリダクション)ボタン

## ケーブルクランプについて

各端子に接続したケーブルは、ケーブルクランプ(付属)で固定してください。

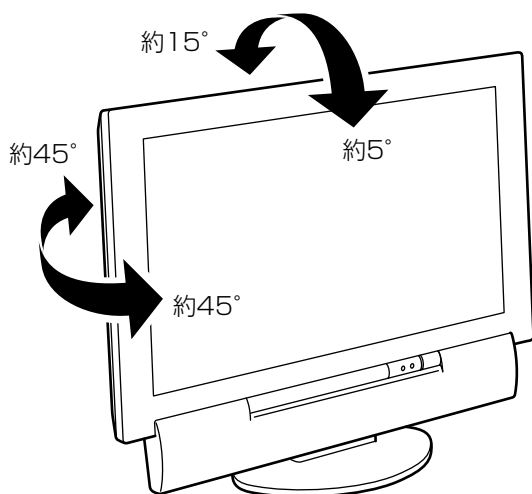
**! ご注意**

※ ケーブルは少し余裕を持たせて固定してください。角度調整のときなど、ケーブルが引っ張られる場合があります。

## 角度を調整する



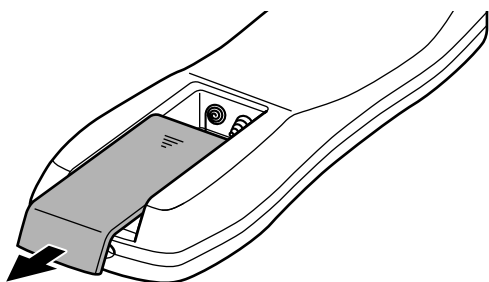
**ご注意**

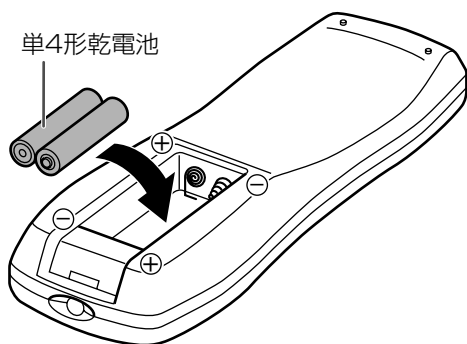
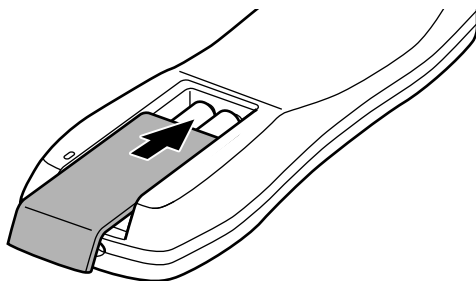
※ 必ず枠の部分を持って調整してください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。

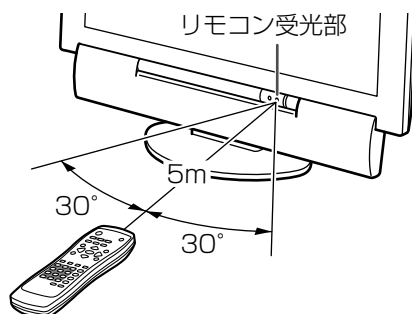
注意 指などをはさまないようにご注意ください。

# リモコンの準備

## 乾電池を入れる

**1. カバーを開ける。**

⩧ の部分を軽く押さえながらスライドさせます。

**2. 付属の乾電池(単4形・2本)を入れる。**

⊕、⊖ の向きを確かめて、正しく入れてください。

**3. カバーを閉める。**

## リモコンの取り扱いについて

- リモコンは、リモコン受光部に向けて操作してください。操作できる範囲はリモコン受光部から約5m、上下左右に約30°以内です。

- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。照明または本機の向きを変えてください。
- 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。
- リモコンを水にぬらしたり、湿度の高いところに置かないでください。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作の妨げになります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい乾電池(単4形)に交換してください。
- 充電池(ニカド電池)は使用しないでください。
- 付属の乾電池は、保存状態により短時間で消耗することがあります。早めに交換してください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

# 準備の流れ



次の手順に従って、接続と設定をしてください。

PC ...PCモニターとして使うときに必要です。
TV ...テレビとして使うときに必要です。
AV ...AVモニターとして使うときに必要です。

## コンピュータに接続する(14～15ページ)

コンピュータのRGB出力端子がアナログの場合→アナログ接続をする(14ページ)
コンピュータのRGB出力端子がデジタルの場合→デジタル接続をする(15ページ)
(デジタル接続には、別売のデジタル信号ケーブルが必要です。)

## テレビのアンテナケーブルを接続する(16～17ページ)

## AV機器に接続する(18～22ページ)

※ DVDやゲームなど、他の機器と接続して楽しみたいときに必要です。

## 電源に接続する(23ページ)

## コンピュータの画面を自動調整する(24ページ)

※ コンピュータとアナログ接続するときに必要です。
(デジタル接続のときは不要です。)

## テレビのチャンネルを設定する(25～28ページ)

# 調整用画面での基本操作

本書では、主にリモコンを使った場合の操作方法を記載しています。
(本体の操作ボタンを使う場合は、「本体の○○ボタン」と記載しています。)

リモコンボタンの働きに対応する本体の操作ボタンは、表のとおりです。
本体の操作ボタンを使う場合に参照してください。

| リモコンボタン | 働き | 対応する本体ボタン |
|---|---|---|
| メニュー | メニューを表示する | メニュー* |
| | メニューを終了する | 入力切替 |
| ▲▼ | カーソルを上下に動かして項目を選択する | メニュー* |
| ◀ ▶ | 調整値を変更する | 音量/明るさ ＜＞ |
| 決定 | カーソル位置の項目を決定する | 決定/省エネ |

* 調整用画面表示中は、カーソルを下に動かして項目を選択します。
また、一番下の項目で押すと、カーソルは一番上の項目に戻ります。

# コンピュータに接続する

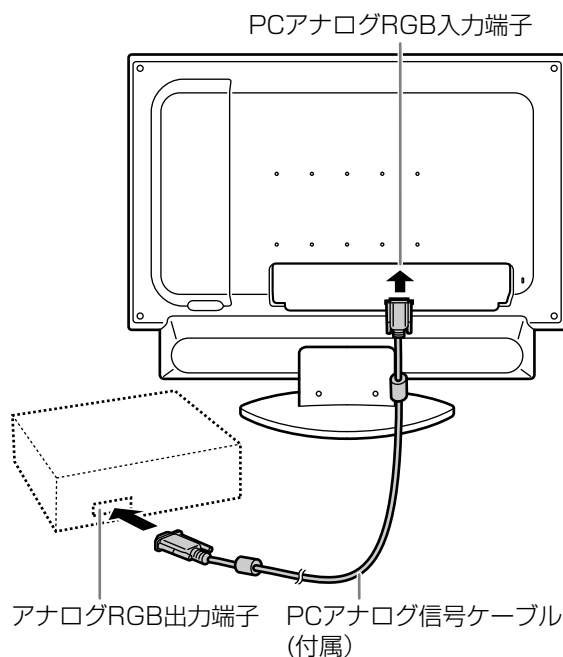
**! ご注意**

※ 接続する機器の電源をすべて切った状態で接続してください。
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

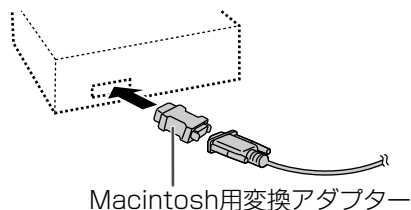
**? Memo**

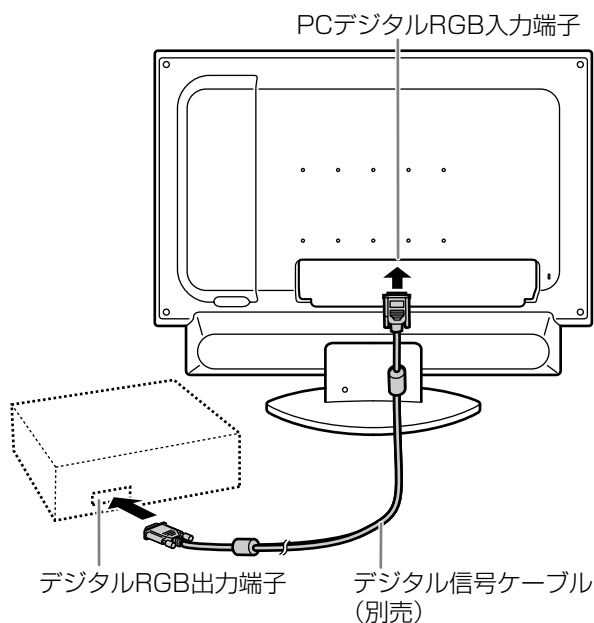
※ アナログ接続の場合、本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(24ページ)をしてください。(デジタル接続でお使いの場合は、自動調整する必要はありません。)
※ お使いのコンピュータやOSによっては、接続先のコンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になる場合があります。(44ページ)
※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコンの画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

## ■ アナログ接続

PCアナログ信号ケーブル(付属)を使って、コンピュータのアナログRGB出力端子と接続します。
端子カバーの付け外しは7ページを参照してください。

※ コネクターの向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

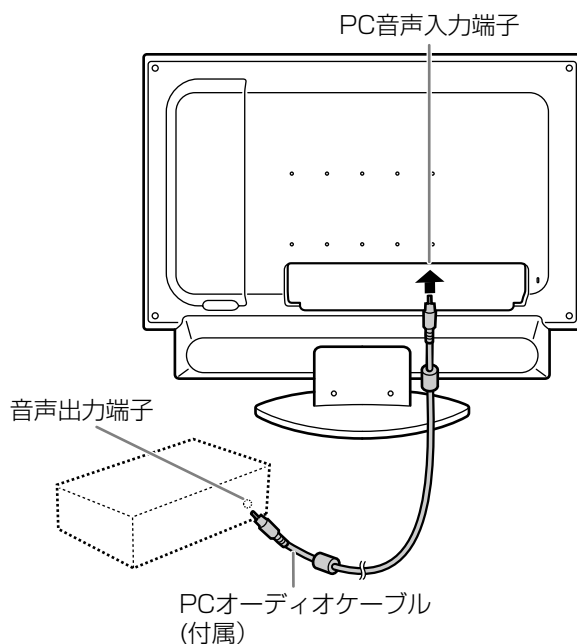
### D-sub15ピン 2列のPower Macintoshとアナログ接続をする場合は

PCアナログ信号ケーブルのコンピュータ側コネクターにMacintosh用変換アダプター(市販品)を取り付けます。

## ■ デジタル接続

別売のデジタル信号ケーブル(品名：NL-C04J)を使って、コンピュータのデジタルRGB出力端子と接続します。
端子カバーの付け外しは7ページを参照してください。
※ DVI準拠の出力端子(DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン)を持つコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

※ コネクターの向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

## ■ オーディオケーブルの接続

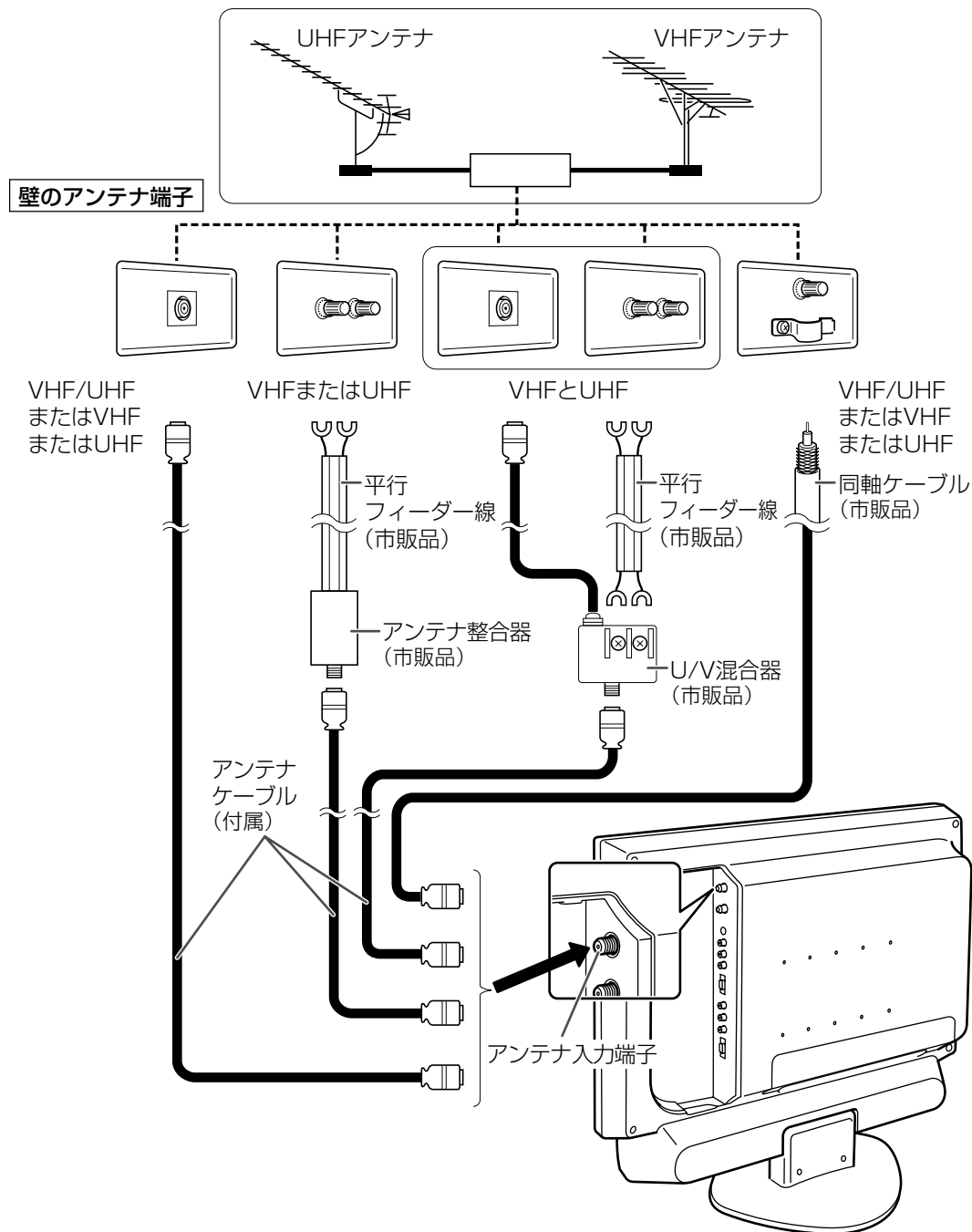
PCオーディオケーブル(付属)を使って、コンピュータの音声出力端子と接続します。
端子カバーの付け外しは7ページを参照してください。

接続と準備

# テレビのアンテナケーブルを接続する



**! ご注意**

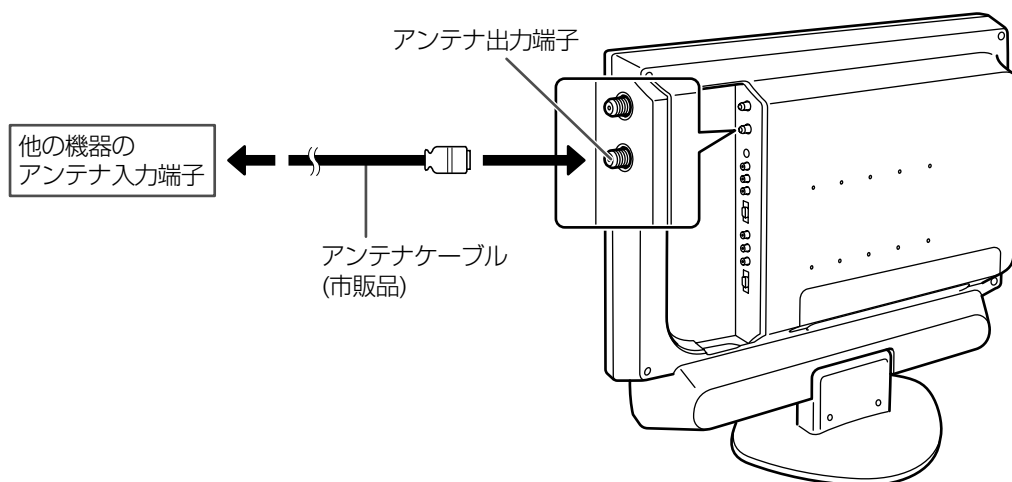
※ 本機の電源を切った状態で接続してください。

アンテナケーブル(付属)を使って、本機のアンテナ入力端子と壁のアンテナ端子を接続します。壁のアンテナ端子の形状によっては、市販品が必要になる場合があります。
端子カバーの付け外しは7ページを参照してください。

**? Memo**

※ VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

他の機器のアンテナ入力端子へアンテナケーブルを接続することができます。
接続には、市販のアンテナケーブルが必要です。接続する機器のアンテナ入力端子の形状によって、必要なアンテナケーブルは異なります。

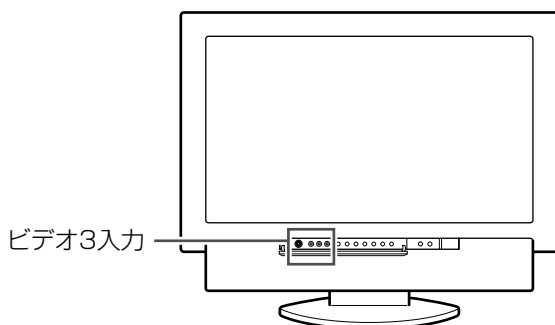
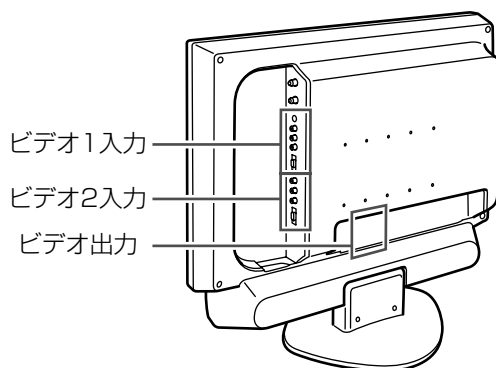
**! ご注意**

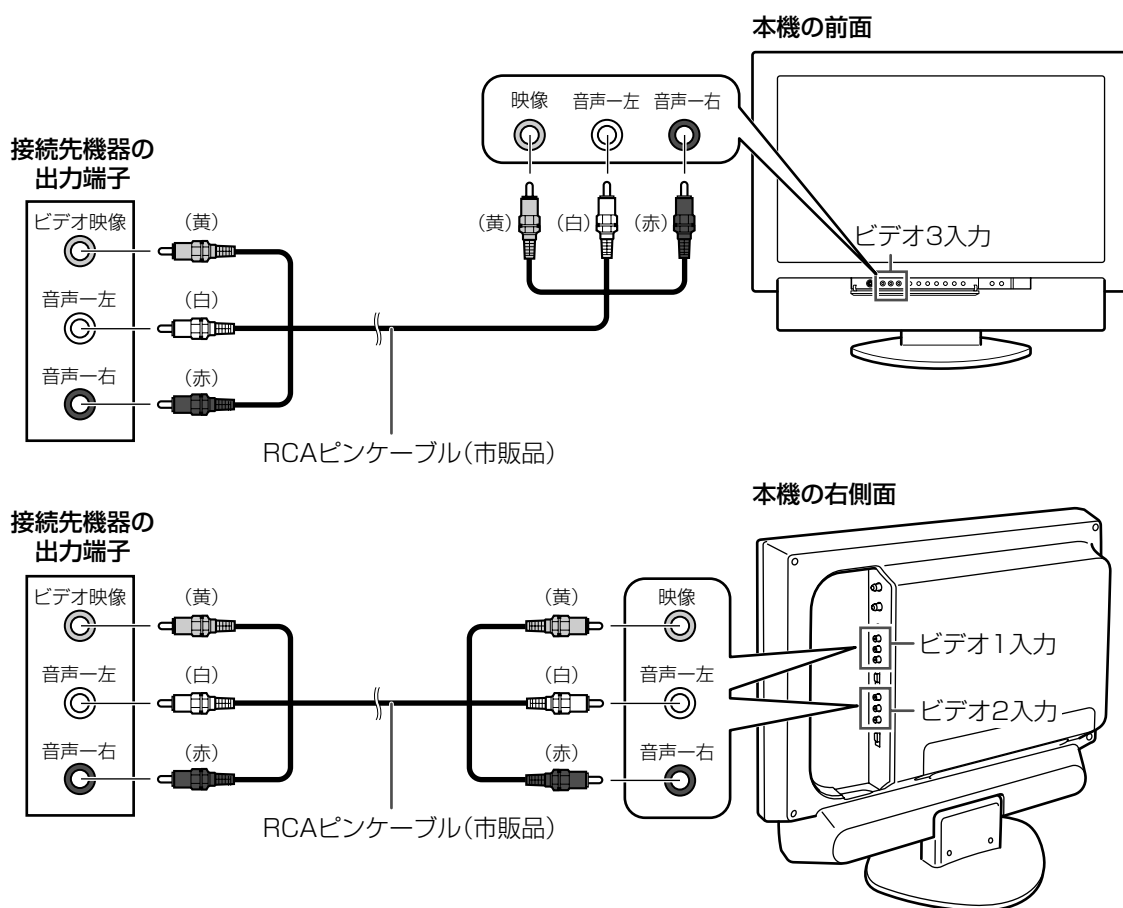
※ アンテナ出力端子を使う場合は、必ず本機を電源に接続してください。
電源に接続されていないときは、アンテナ出力端子から信号が出力されないため、接続先の機器では放送を受信することができません。
電源に接続されているときは、電源の入／切にかかわらず、アンテナ出力端子から信号が出力されます。

# AV機器に接続する

**! ご注意**

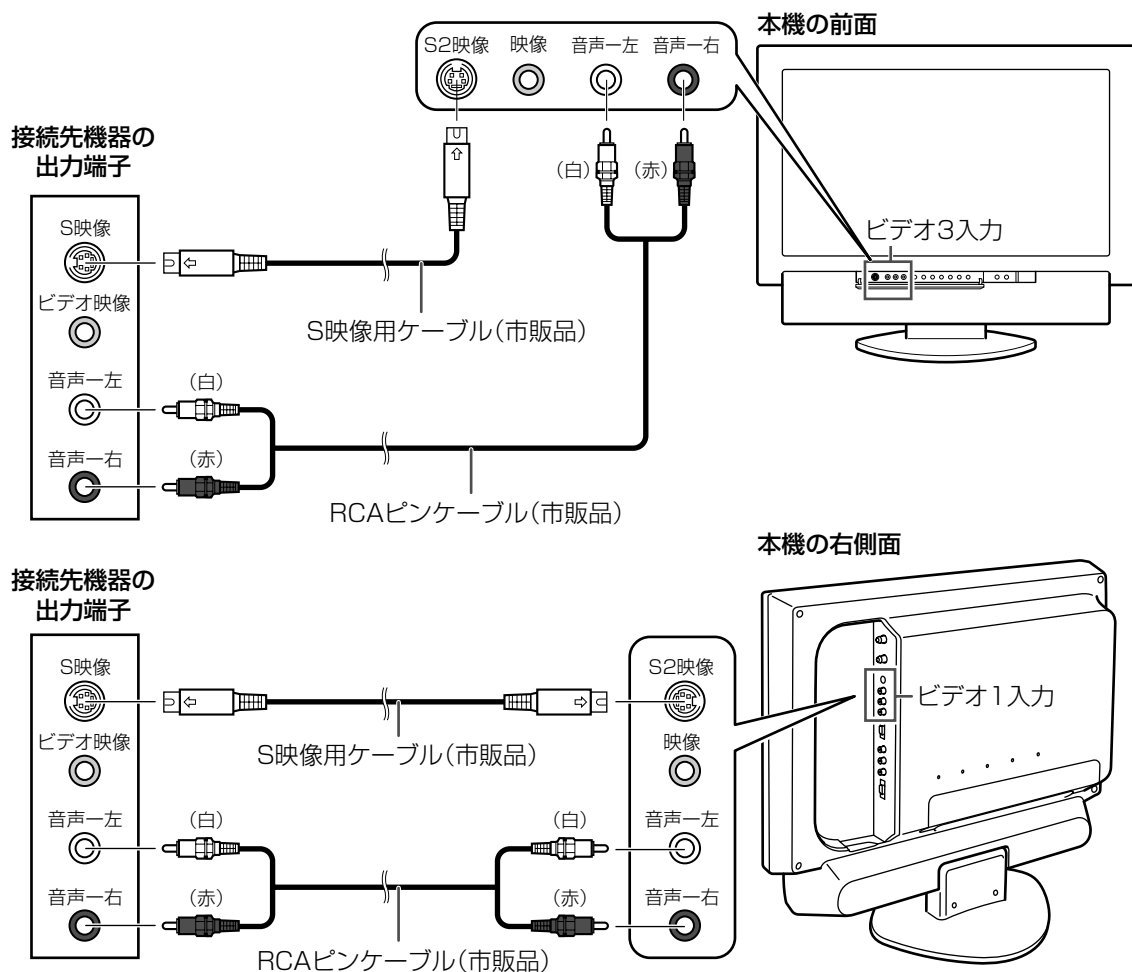
※ 接続する機器の電源をすべて切った状態で接続してください。

端子カバーの付け外しは7ページを参照してください。

## ■ 接続できる機器の例

| | ビデオ1入力 | ビデオ2入力 | ビデオ3入力 | ビデオ出力 |
|---|---|---|---|---|
| ビデオ映像出力端子のあるAV機器 | ○ | ○ | ○ | — |
| S映像出力端子のあるAV機器 | ○ | — | ○ | — |
| D映像出力端子のあるAV機器 | ○ | ○ | — | — |
| 入力端子のあるAV機器 | — | — | — | ○ |

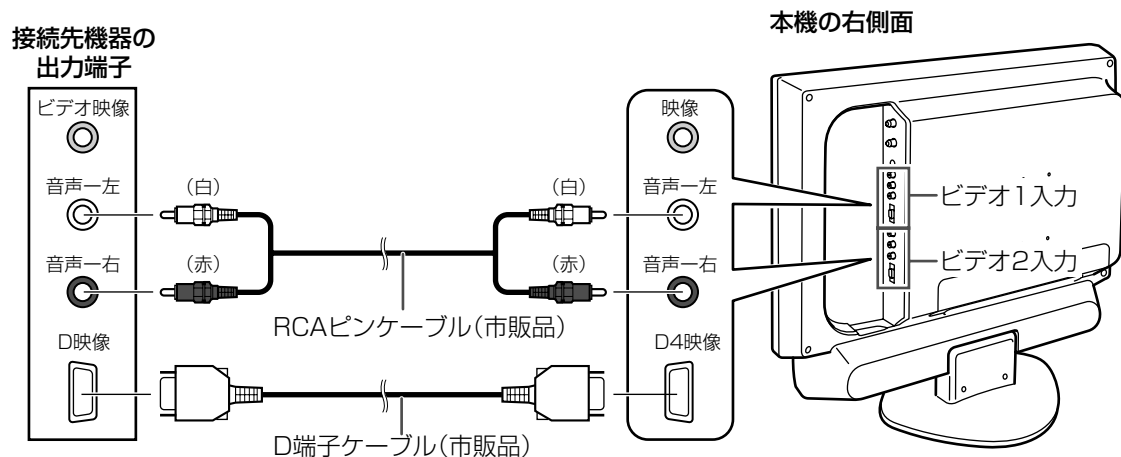
## ■ ビデオ映像出力端子のあるAV機器

**? Memo**

※ 映像入力端子を使うときは、S2映像入力端子やD4映像入力端子にケーブルを接続しないでください。

## ■ S映像出力端子のあるAV機器

Memo

※ S2映像入力端子を使うときは、映像入力端子やD4映像入力端子にケーブルを接続しないでください。

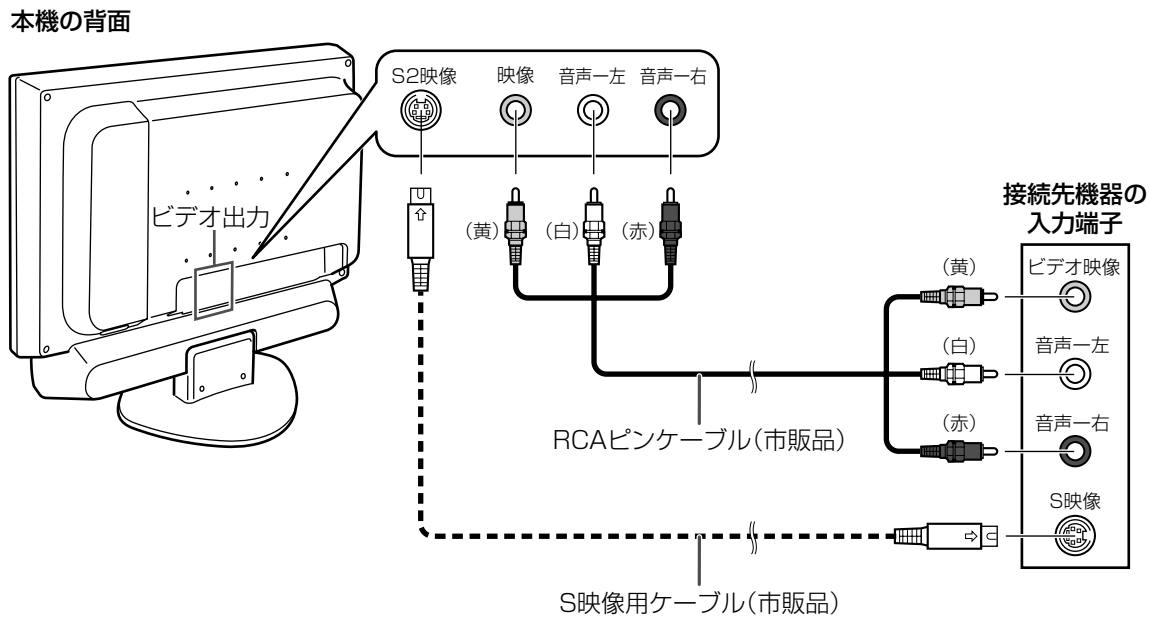
※ 本機のS2映像入力端子は、S1またはS2の映像の入力に対応しています。

## ■ D映像出力端子のあるAV機器

**? Memo**

※ D端子ケーブルは、接続する機器のコネクターの形状を確認してからお求めください。

※ D4映像入力端子を使うときは、映像入力端子やS2映像入力端子にケーブルを接続しないでください。

※ 本機のD4映像入力端子は、D1（525i）、D2（525p）、D3（1125i）、D4（750p）の映像の入力に対応しています。

## ■ 外部出力したいとき（入力端子のあるAV機器と接続するとき）

ビデオ出力からは、表示中の映像と音声が出力されます。ただし、画面モードや入力される端子により、出力される端子が異なったり出力されなかったりします。

| | 出力される端子 | | |
|---|---|---|---|
| | 映像 | S2映像 | |
| テレビの映像 | ○ | × | |
| 映像入力端子からの映像 | ○ | × | |
| S2映像入力端子からの映像 | ○ | ○ | |
| D4映像入力端子からの映像 | × | × | ※1 |
| PC入力端子からの映像 | × | × | ※2 |

※1 音声のみ出力されます。

※2 モード選択メニューの「音声選択」で設定されている音声のみ出力されます。
マルチ画面表示中は、マルチ画面表示中の映像（テレビ、映像入力端子・S2映像入力端子の映像）と、マルチ画面メニューの「マルチ画面音声切替」で設定されている音声が出力されます。

**? Memo**

※ 使用シーンに合わせて、モード選択メニューの「音声出力選択」を設定してください。（41、58ページ）

- 固定　：ビデオデッキを接続して録画をする場合など。
  音声出力端子の音量レベルは固定されます。
- 可変1 ：本機の映像を見ながら、本機のスピーカーと外部スピーカー両方の音声を楽しむ場合など。
  音量大・小ボタンで外部スピーカーと本機のスピーカー両方の音量が調整できます。
- 可変2 ：本機の映像を見ながら、外部スピーカーだけの音声を楽しむ場合など。
  本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。
  音量大・小ボタンで外部スピーカーの音量が調整できます。

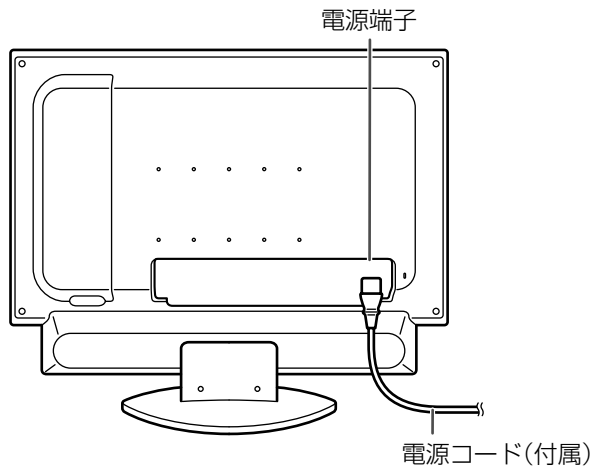
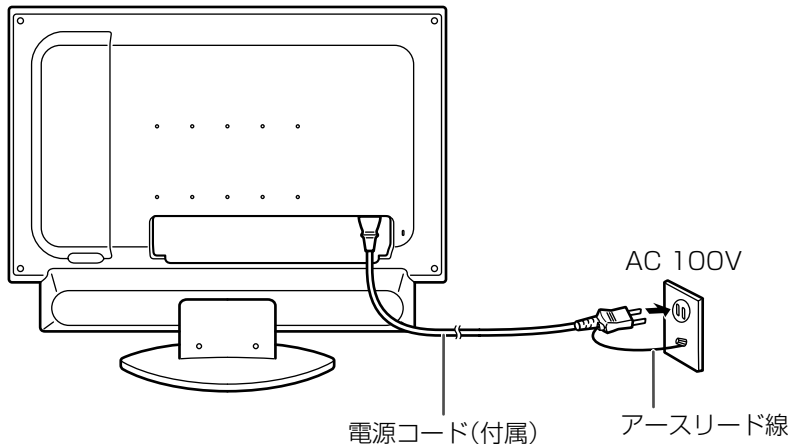
# 電源に接続する

**! ご注意**

※ 本機の電源を切った状態で接続してください。
※ 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

⚠ 注意 **電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**
指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

端子カバーの付け外しは7ページを参照してください。

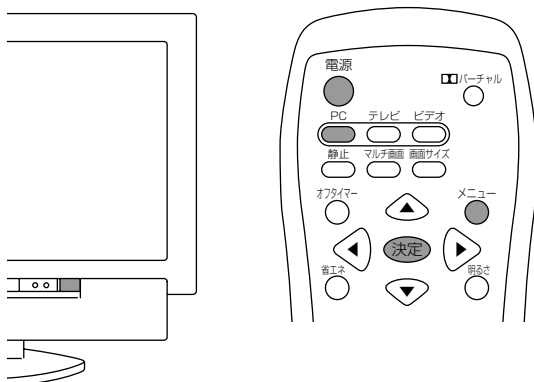
**1. 電源コード(付属)を電源端子に接続する。**

**2. 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込む。**

⚠ 警告 **アース接続してください。**
アース接続がされないで万一、故障した場合は感電の恐れがあります。
●アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
●アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

# コンピュータの画面を自動調整する(アナログ接続時)



コンピュータのモニターとして本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整をしてください。「クロック」、「フェーズ」、「水平位置」、「垂直位置」が最適な状態に設定されます。

**? Memo**

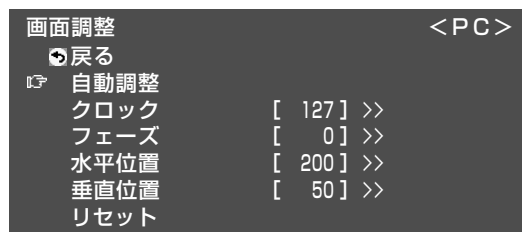
※ デジタル接続でお使いの場合は、自動調整する必要はありません。

**1. 本体の電源ボタンを押して電源を入れる。**
電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの電源ボタンを押します。

**2. PCボタンを押してPCモード(アナログ)にする。**
画面右上に「PC」と「アナログ」が表示されます。

「デジタル」と表示された場合は、もう一度PCボタンを押してください。

**3. コンピュータの電源を入れ、画面全体が明るくなるような画像を表示する。**
Windowsをお使いの場合は、CD-ROM(付属)内の調整用パターンを利用してください。(36ページ)

**4. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが表示されます。

**5. 決定ボタンを押す。**
画面調整メニューが表示されます。

**6. 決定ボタンを押す。**
画面が黒くなって「自動調整中」と表示され、数秒後、メニューに戻ります。

**7. メニューボタンを押す。**
以上で調整は完了です。

**? Memo**

※ 本機とアナログ接続したコンピュータを、1360×768、1280×768、1024×768の解像度でお使いの場合は、モード選択メニュー(PCモード)の「768ライン解像度」をお使いの解像度に設定してください。(41ページ)

※ 本機とアナログ接続したコンピュータを、640×480、848×480の解像度でお使いの場合は、モード選択メニュー(PCモード)の「480ライン解像度」をお使いの解像度に設定してください。(41ページ)

※ 1回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を2〜3回繰り返してみてください。

※ 次のような場合は必要に応じて手動調整をしてください。(36ページ)

- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。もう一度自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整では正しく調整できないことがあります。)

※ 動画やMS-DOSプロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

# テレビのチャンネルを設定する

本機で受信できる放送／チャンネルは表のとおりです。

| | |
|---|---|
| VHF | 1～12チャンネル |
| UHF | 13～62チャンネル |
| 有線テレビ放送(CATV) | C13～C63チャンネル |

(CATVを受信するには、CATVサービス会社への加入手続きが必要です。)

工場出荷時は、VHF1～12チャンネルがリモコン番号1～12チャンネルで映るように設定されています。また、CATVのC13～C63チャンネルは、スキップに設定されています。(27ページ)
他のチャンネルが映るようにするには、チャンネル設定が必要です。

**? Memo**

※ 調整ロック(59ページ)を設定しているときは解除してください。調整ロックを設定したままではチャンネルを設定することはできません。

## ■ チャンネル設定の種類について

以下の設定方法があります。

**受信できる放送局を自動で設定する(オートプリセット)**
ご使用になる地域で受信できるVHF/UHFの電波(放送局)を自動的に登録できます。

**1局ずつ手動で設定する(マニュアルメモリー)**
1局ずつ手動で登録する方法です。
次のようなときにお使いください。

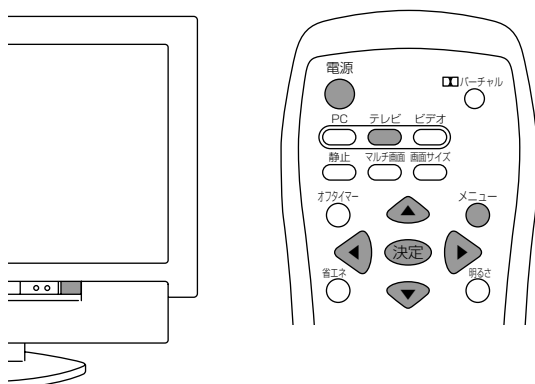
- オートプリセットや地域番号設定をした後、他のチャンネルを追加で登録するとき
- CATVのチャンネルを登録するとき

**地域番号を入力して設定する(地域番号)**
本機をご使用になる地域の番号を、地域番号早見表・地域番号一覧表(63～66ページ)から指定することで、その地域で受信できる放送局を一度に登録できます。

**? Memo**

※ 登録できるチャンネルは最大12局です。
※ マンションなどの共同受信の場合、管理人や管理会社に、受信できる放送を確認してください。チャンネルが変換されているときは、手動で設定してください。(27ページ)
※ 1～12チャンネルを工場出荷時の状態に戻すには、地域番号設定で地域番号を「000」に設定してください。

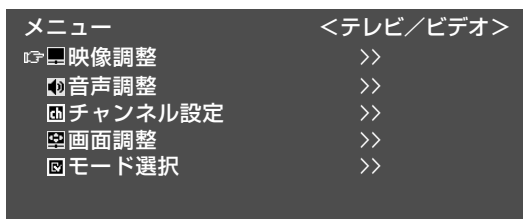
# 受信できる放送局を自動で設定する（オートプリセット）

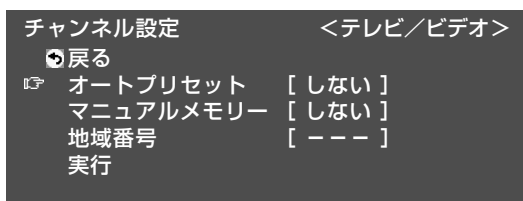
ご使用になる地域で受信できるVHF/UHFの電波（放送局）を自動的に登録します。
登録できるチャンネルは最大12局です。

**1. 本体の電源ボタンを押して電源を入れる。**
電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの電源ボタンを押します。

**2. テレビボタンを押してテレビモードにする。**
画面右上に数字（チャンネル）が表示されます。

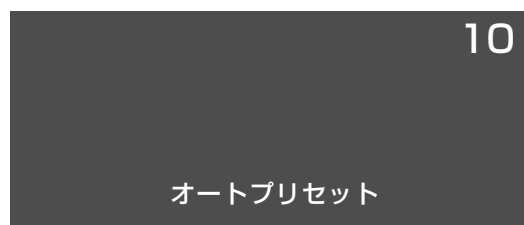
10

**3. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが表示されます。

メニュー　＜テレビ／ビデオ＞
☞映像調整　>>
音声調整　>>
チャンネル設定　>>
画面調整　>>
モード選択　>>

**4. ▲ ▼ ボタンで「チャンネル設定」を選ぶ。**

**5. 決定ボタンを押す。**
チャンネル設定メニューが表示されます。

**6. ▲ ▼ ボタンで「オートプリセット」を選び、決定ボタンを押す。**

**7. ◀ ▶ ボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す。**

**8. ▲ ▼ ボタンで「実行」を選び、決定ボタンを押す。**
オートプリセット画面が表示され、受信できる放送局が順に登録されます。登録が終わるまで少しお待ちください。

登録が終わると、設定されたチャンネルが約10秒間表示された後、消えます。

オートプリセット　＜テレビ／ビデオ＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | 1 | 9. | 26 |
| 2. | 2 | 10. | 10 |
| 3. | 3 | 11. | 11 |
| 4. | 4 | 12. | 12 |
| 5. | 55 | | |
| 6. | 6 | | |
| 7. | 24 | | |
| 8. | 8 | | |

以上で設定は完了です。

**? Memo**

※ オートプリセットは途中で止められません。
※ 調整用の画面は、約30秒間ボタン操作がないと、それまでの設定を有効にして自動的に消えます。
※ オートプリセットを行うと、以前の内容はすべて消え、新しい登録内容に置き換わります。
※ 受信可能なチャンネルがなかった場合、設定は変更されません。（以前の内容が残ります。）

## 1局ずつ手動で設定する（マニュアルメモリー）

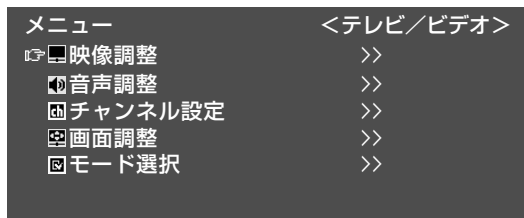
チャンネルを1局ずつ設定します。また、選局ボタンを使うとき、放送のないチャンネルをとび越して選局するように設定することもできます（スキップ）。

1. **本体の電源ボタンを押して電源を入れる。**
   電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの電源ボタンを押します。
2. **テレビボタンを押してテレビモードにする。**
   画面右上に数字（チャンネル）が表示されます。

   10

3. **メニューボタンを押す。**
   調整用メニューが表示されます。

   | メニュー | <テレビ／ビデオ> |
   |---|---|
   | ☞映像調整 | >> |
   | 音声調整 | >> |
   | チャンネル設定 | >> |
   | 画面調整 | >> |
   | モード選択 | >> |

4. **▲▼ボタンで「チャンネル設定」を選ぶ。**
5. **決定ボタンを押す。**
   チャンネル設定メニューが表示されます。

| チャンネル設定 | <テレビ／ビデオ> |
|---|---|
| 戻る | |
| ☞ オートプリセット | [ しない ] |
| マニュアルメモリー | [ しない ] |
| 地域番号 | [ ーーー ] |
| 実行 | |

6. **▲▼ボタンで「マニュアルメモリー」を選び、決定ボタンを押す。**
7. **◀▶ボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す。**
8. **▲▼ボタンで「実行」を選び、決定ボタンを押す。**
9. **各項目を設定する。**

   | マニュアルメモリー | <テレビ／ビデオ> |
   |---|---|
   | 戻る | |
   | ☞ リモコン番号 | [ 1 ] |
   | 受信チャンネル | [ 1 ] |
   | チャンネル表示 | [ 1 ] |
   | 受信微調整 | [ 0 ] |
   | ＧＲ設定 | [ 入 ] |
   | ＧＲ速度 | [ 標準 ] |
   | スキップ | [ 切 ] |

   ① ▲▼ボタンで設定する項目を選び、決定ボタンを押す。
   ② ◀▶ボタンで調整し、決定ボタンを押す。

   **リモコン番号：**
   本機のチャンネル番号を設定します。1〜12、C13〜C63（CATV）から選びます。

   **受信チャンネル：**
   放送局の周波数を設定します。1〜62、C13〜C63（CATV）から選びます。リモコン番号がC13〜C63のとき、受信チャンネルの設定はありません。

   **チャンネル表示：**
   リモコン番号1〜12のチャンネルを選んだとき、画面に表示されるチャンネルの数字を設定します。

   **受信微調整：**
   地域によっては、調整をずらしたほうが見やすくなる場合があります。背景のテレビ映像を見ながら調整してください。

   **GR設定：**
   「入」にすると、受信チャンネルのゴースト（51ページ）を軽減します。

   **GR速度：**
   「速い」に設定すると、GR効果が素早く得られます。「標準」に設定すると、GR効果はゆっくりですが、より確実な効果が得られます。

   **スキップ：**
   「入」に設定すると、選局ボタンを押しても、そのチャンネルはスキップして表示されません。

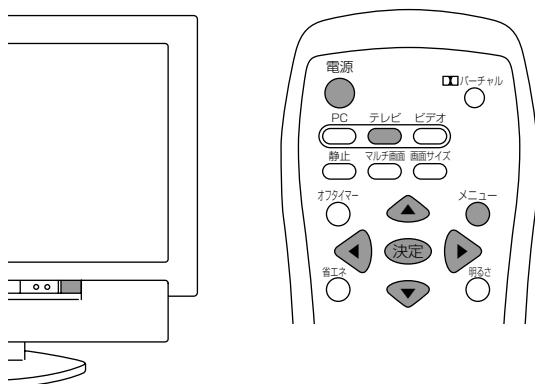
10. **メニューボタンを押す。**
    以上で設定は完了です。

例：本機の5チャンネルで19チャンネルの番組が映るようにする。画面には「19」と表示させる。
→リモコン番号を「5」、受信チャンネルを「19」、チャンネル表示を「19」に設定します。

**? Memo**

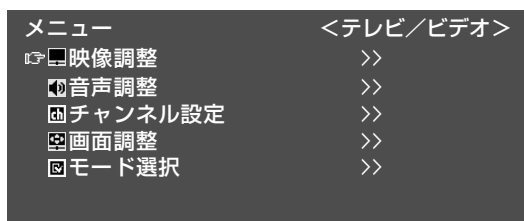
※ 調整用の画面は、約30秒間ボタン操作がないと、それまでの設定を有効にして自動的に消えます。
※ チャンネルボタン（1-12）を押したときは、スキップに設定したチャンネルも表示されます。

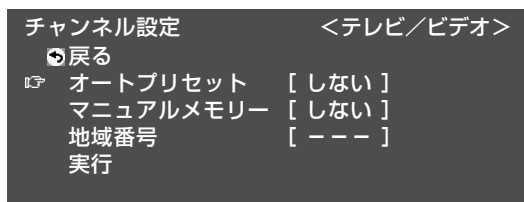
## 地域番号を入力して設定する（地域番号）

ご使用になる地域で受信できる放送局を一度に登録します。地域番号早見表・地域番号一覧表(63〜66ページ)で、本機をご使用になる地域の地域番号を確認してください。

**1. 本体の電源ボタンを押して電源を入れる。**
電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの電源ボタンを押します。

**2. テレビボタンを押してテレビモードにする。**
画面右上に数字(チャンネル)が表示されます。

10

**3. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが表示されます。

**4. ▲ ▼ ボタンで「チャンネル設定」を選ぶ。**

**5. 決定ボタンを押す。**
チャンネル設定メニューが表示されます。

**6. ▲ ▼ ボタンで「地域番号」を選び、決定ボタンを押す。**

**7. ◀ ▶ ボタンで地域番号を入力する。**
地域番号は、地域番号早見表・地域番号一覧表(63〜66ページ)で確認してください。
▶ ボタン：１つずつ増えます。
◀ ボタン：１つずつ減ります。

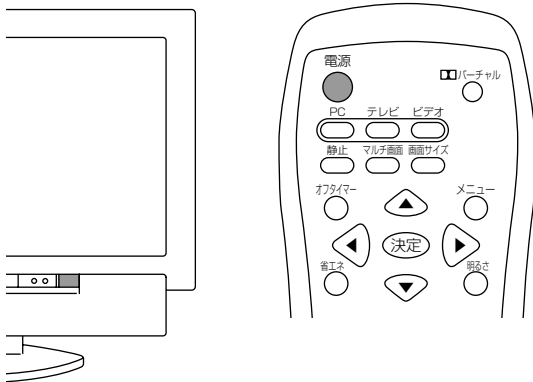
**8. 決定ボタンを押す。**

**9. ▲ ▼ ボタンで「実行」を選び、決定ボタンを押す。**
設定されたチャンネルが約10秒間表示された後、消えます。

以上で設定は完了です。

**? Memo**

※ 調整用の画面は、約30秒間ボタン操作がないと、それまでの設定を有効にして自動的に消えます。
※ 地域番号設定を行うと、以前の内容はすべて消え、新しい登録内容に置き換わります。

## 電源を入／切する

### ■ 電源の入れ方

**【電源ランプが消灯しているとき】**

**1. 本体の電源ボタンを押す。**

**2. 接続先機器の電源を入れる。**

電源ランプが緑色に点灯し、画面モードが数秒間表示されます。

**【電源ランプが赤色に点灯しているとき(待機時)】**

**1. リモコンの電源ボタンを押す。**

**2. 接続先機器の電源を入れる。**

電源ランプが緑色に点灯し、画面モードが数秒間表示されます。

### ■ 電源の切り方

**1. 接続先機器の電源を切る。**

**2. リモコンの電源ボタンを押す。**

電源ランプが赤色に点灯します。(待機状態)

**3. 本体の電源ボタンを押す。**

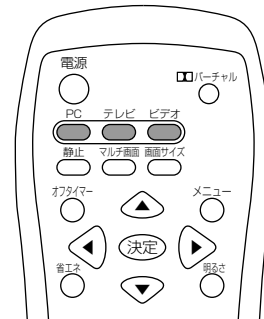
電源ランプが消灯します。

**? Memo**

※ 電源の切／入は、必ず約5秒以上の間隔を空けて行ってください。急に切り替えると、故障や誤動作の原因になります。

※ 電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

※ 各種設定をした直後に電源を切ると、設定内容が反映されない場合があります。

## 画面モードを切り替える(入力切替)

**1. PCボタン、テレビボタン、ビデオボタンのいずれかを押す。**

押したボタンの画面モードに切り替わります。

ビデオモード中は、ビデオボタンを押すたびに、ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ1...の順に切り替わります。

PCモード中は、PCボタンを押すたびに信号入力端子(アナログ／デジタル)が切り替わります。

**画面モード**

| | | |
|---|---|---|
| **PC** | PCモード | コンピュータの画像を表示します。 |
| **数字** | テレビモード | テレビ映像を表示します。 |
| **ビデオ1** | ビデオ1モード | ビデオ1入力に接続した機器の映像を表示します。 |
| **ビデオ2** | ビデオ2モード | ビデオ2入力に接続した機器の映像を表示します。 |
| **ビデオ3** | ビデオ3モード | ビデオ3入力に接続した機器の映像を表示します。 |

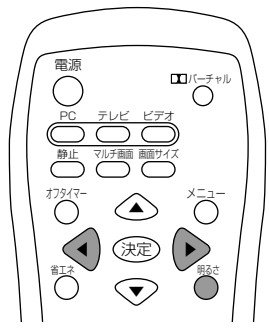
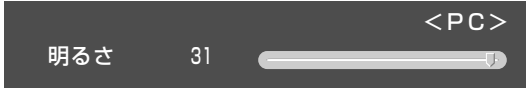
**Memo**

※ 電源を入れたとき、最初に表示される画面モードは、前回電源を切ったときの画面モードです。(工場出荷時は「PC(アナログ)」です。)
※ テレビモードへの切り替えは、チャンネルボタン(1-12)または選局ボタンでも行うことができます。ただし、PCモードで次のようなときには切り替わりません。
- マルチ画面でテレビを見ているとき
- テレビの音声を聞いているとき

※ 本体の入力切替ボタンを使って画面モードを切り替えることもできます。押すたびに、以下の順に切り替わります。
PC(アナログ)→PC(デジタル)→数字(テレビ)→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→PC(アナログ)...



## 明るさを調整する

バックライトの明るさを調整します。
明るさは、PCモードとテレビ／ビデオモードで個別に設定できます。初めに、調整したい画面モードに切り替えてください。

1. 明るさボタンを押す。

2. ◀ ▶ ボタンを押して調整する。

| 明るくするには | ▶ ボタン |
|---|---|
| 暗くするには | ◀ ボタン |

調整用の画面は、最後の操作から数秒後に自動的に消えます。

**Memo**

※ 本体の操作ボタンで調整することもできます。
① 音量/明るさボタンを押す。
② メニューボタンで「明るさ」を選ぶ。
③ 音量/明るさボタンを押して調整する。

| 明るくするには | 音量/明るさ>ボタン |
|---|---|
| 暗くするには | 音量/明るさ<ボタン |

調整用の画面は、最後の操作から約15秒後に自動的に消えます。

# 音量を調整する

音量は、PCモードとテレビ／ビデオモードで個別に設定できます。初めに、調整したい画面モードに切り替えてください。

**1. 音量 大・小ボタンを押して調整する。**

| | |
|---|---|
| **大きくするには** | 音量 大ボタン |
| **小さくするには** | 音量 小ボタン |

調整用の画面は、最後の操作から数秒後に自動的に消えます。

**? Memo**

※ ヘッドホンが接続されているときは、ヘッドホンの音量調整になります。（ が表示されます。）
※ モード選択メニューの「音声出力選択」を「可変2」に設定すると、音声出力端子の音量レベル調整になります。（ が表示されます。）
※ 本体の操作ボタンで調整することもできます。
① 音量/明るさボタンを押す。
② メニューボタンで「音量」を選ぶ。
③ 音量/明るさボタンを押して調整する。

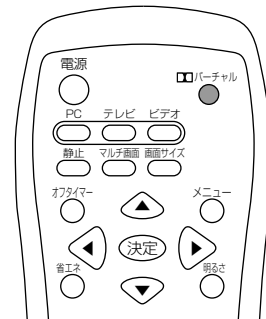
| | |
|---|---|
| **大きくするには** | 音量/明るさ＞ボタン |
| **小さくするには** | 音量/明るさ＜ボタン |

調整用の画面は、最後の操作から約15秒後に自動的に消えます。

# 広がりのある音で楽しむ（バーチャルドルビーサラウンド）

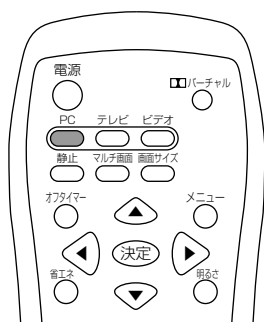
バーチャルドルビーサラウンド機能を使って、映画館のような迫力や臨場感あふれる音声をお楽しみいただけます。

VIRTUAL DOLBY SURROUND PRO LOGIC II

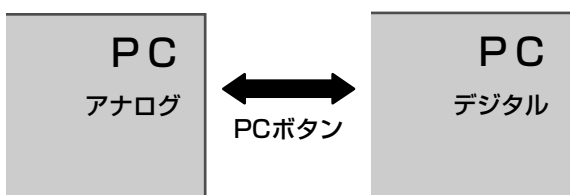
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

**1. ドルビーバーチャルボタンを押す。**
ボタンを押すたびに、「入」と「切」が切り替わります。

**? Memo**

※ ヘッドホン接続時や、モード選択メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは、バーチャルドルビーサラウンド機能は使えません。
※ 音声出力端子から出力される音声にバーチャルドルビーサラウンドの効果は効きません。

# PC入力端子(アナログ／デジタル)の切り替え

**1. PCボタンを押してPCモードにする。**

**2. PCボタンを押す。**

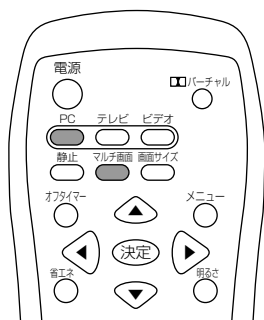
押すたびに信号入力端子(アナログ／デジタル)が切り替わります。

**? Memo**

※ 入力信号がない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

※ 本体の入力切替ボタンで切り替えることもできます。押すたびに、以下の順に切り替わります。
PC(アナログ)→PC(デジタル)→数字(テレビ)→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→PC(アナログ)...

# コンピュータ画面でテレビなどを見る(マルチ画面)

コンピュータの画面とテレビやビデオの映像を同時に表示することができます。
表示のしかたには次の2種類があります。

| | |
|---|---|
| **子画面表示** | テレビやビデオの映像を小さな画面で表示します。 |
| **2画面表示** | コンピュータの画面とテレビやビデオの映像を左右2画面で表示します。 |

**1. PCボタンを押してPCモードにする。**

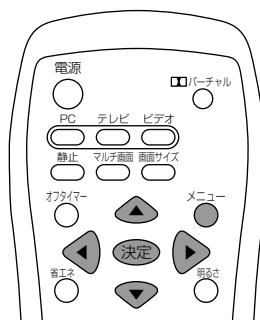
**2. マルチ画面ボタンを押す。**

マルチ画面が表示されます。
ボタンを押すごとに、表示が切り替わります。
(通常表示→子画面表示→2画面表示→通常表示...)

**【こんなことができます】**

- マルチ画面に表示しているテレビのチャンネルを替える。
  ① チャンネルボタン(1-12)または選局ボタンを押す。
- 音量を調整する。(31ページ)
- 子画面の表示位置を動かす。
  ① 調整用の画面が表示されていないとき、
  ▲▼◀▶ボタンを押す。
- 子画面のサイズを変える。
  調整用メニュー(マルチ画面メニュー)の「子画面サイズ」で設定します。(36、42ページ)
- 映像を選ぶ。(右記)
- 音声を選ぶ。(34ページ)
- コンピュータ画面の表示位置を設定する。
  調整用メニュー(マルチ画面メニュー)の「PC表示位置」で設定します。(36、42ページ)

## 映像を選ぶ

マルチ画面で表示する映像をテレビ、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3から選ぶことができます。

**1. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが表示されます。

**2. ▲▼ボタンで「マルチ画面」を選ぶ。**

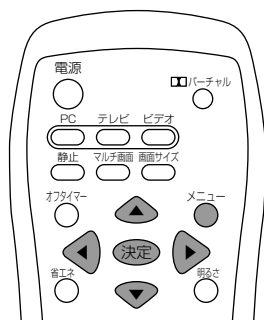
**3. 決定ボタンを押す。**

**4. ▲▼ボタンで「マルチ画面入力切替」を選び、決定ボタンを押す。**

**5. ◀▶ボタンで表示したい映像を選ぶ。**

**6. メニューボタンを押す。**
以上で設定は完了です。

## 音声を選ぶ

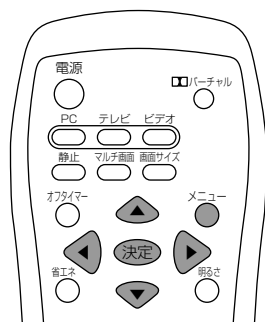
マルチ画面を表示しているときに聞きたい音声を選ぶことができます。

**1. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが表示されます。
**2. ▲ ▼ ボタンで「マルチ画面」を選ぶ。**
**3. 決定ボタンを押す。**
**4. ▲ ▼ ボタンで「マルチ画面音声切替」を選び、決定ボタンを押す。**
**5. ◀ ▶ ボタンで聞きたい音声を選ぶ。**
・マルチ画面：テレビやビデオの音声
・PC：コンピュータの音声
**6. メニューボタンを押す。**
以上で設定は完了です。

PCモード

**? Memo**

※ テレビ音声の音声モードを切り替えるには、音声切替ボタンを押します。

# コンピュータ画面でテレビなどの音声を聞く

コンピュータ画面の表示中にテレビやビデオの音声を聞くことができます。

**1. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが表示されます。

**2. ▲▼ ボタンで「モード選択」を選ぶ。**

**3. 決定ボタンを押す。**

**4. ▲▼ ボタンで「音声選択」を選び、決定ボタンを押す。**

**5. ◀ ▶ ボタンで聞きたい音声を選ぶ。**

**6. メニューボタンを押す。**
以上で設定は完了です。

***? Memo***

※ テレビ音声のチャンネルを切り替えるには、チャンネルボタン(1-12)または選局ボタンを押します。

※ テレビ音声の音声モードを切り替えるには、音声切替ボタンを押します。

※ マルチ画面を表示しているときは、音声を切り替えることはできません。マルチ画面メニューの「マルチ画面音声切替」で設定されている音声が優先されます。

# PCモードの調整について

コンピュータ画像のカラー調整やマルチ画面の設定などを行うことができます。

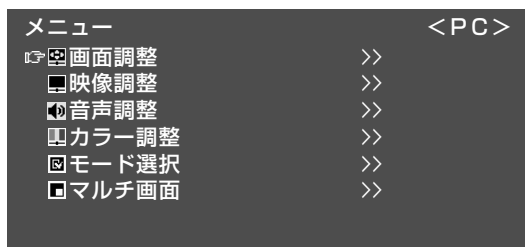
## 基本操作

**1. PCボタンを押してPCモードにする。**

**2. コンピュータの画面全体が明るくなるような画像を表示する。**

Windowsをお使いの場合は、CD-ROM(付属)内の調整用パターンを利用してください。

**3. メニューボタンを押す。**

調整用メニューが表示されます。

**4. ▲▼ ボタンで設定するメニューを選ぶ。**

**5. 決定ボタンを押す。**

設定項目の一覧画面が表示されます。

**6. ▲▼ ボタンで設定する項目を選ぶ。**

**7. 決定ボタンを押す。**

**8. ◀ ▶ ボタンで数字や値を変更する。**

続けて他の項目を設定することもできます。
ひとつ前の画面に戻すには
① ▲▼ ボタンで「戻る」を選ぶ。
② 決定ボタンを押す。

**9. メニューボタンを押す。**

調整用メニューが消えます。

***? Memo***

※ 調整用メニューは、約30秒間ボタン操作がないと、それまでの設定を有効にして自動的に消えます。

※ 本書では調整用パターン(Windows用)を利用した調整のしかたを基本に説明しています。

### ■ 調整用パターンについて

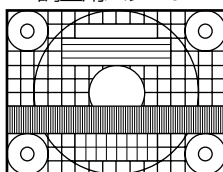
Windowsをお使いの場合は、画面の調整にCD-ROM(付属)内の調整用パターンを利用してください。

**1. CD-ROM(付属)をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。**

**2. 「マイコンピュータ」のCD-ROMを開く。**

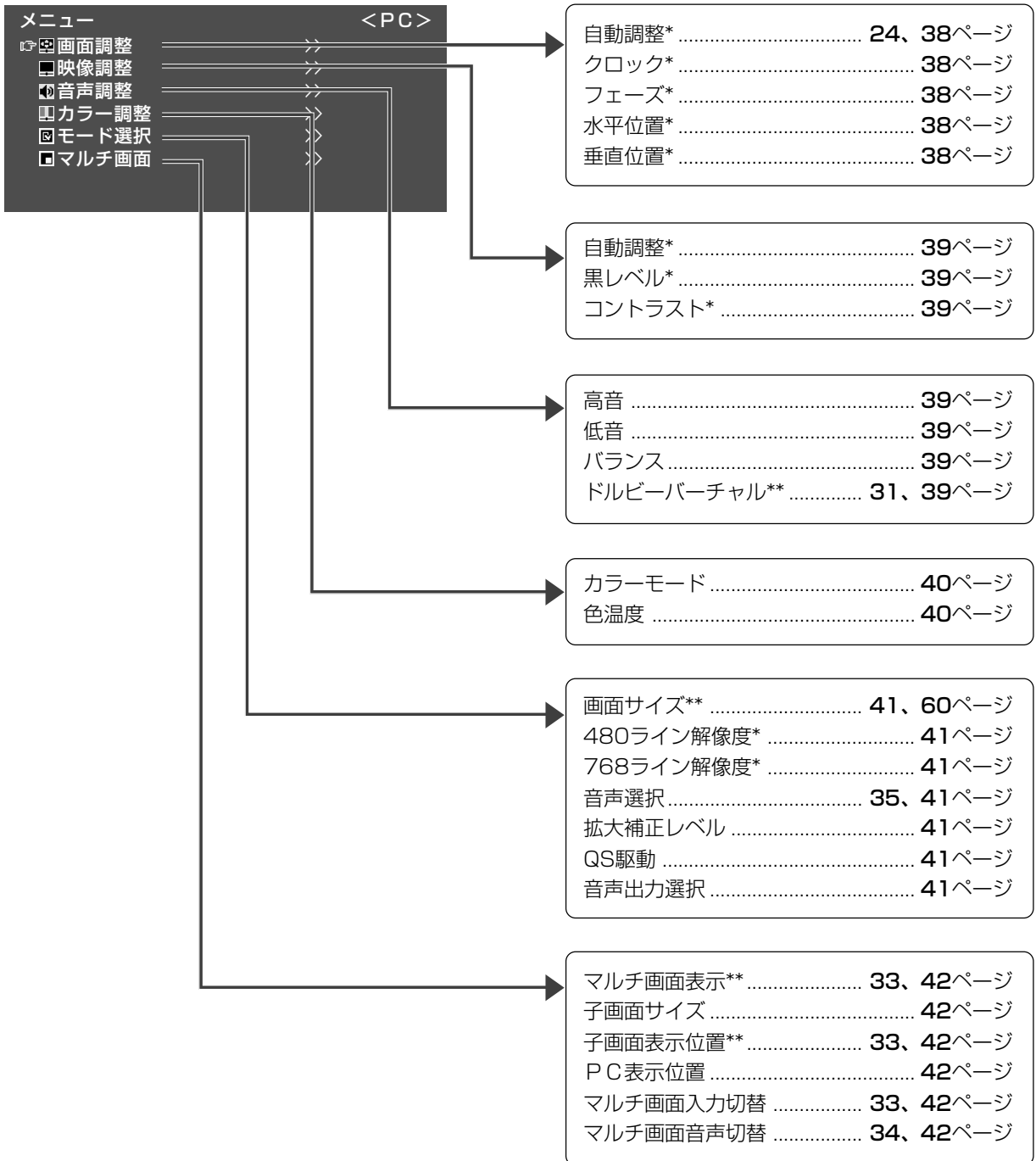
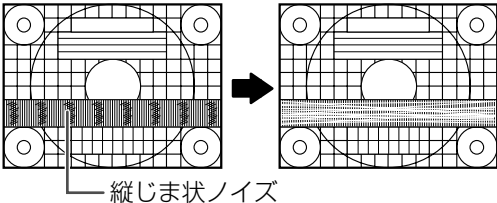
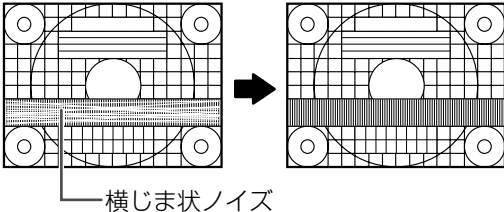
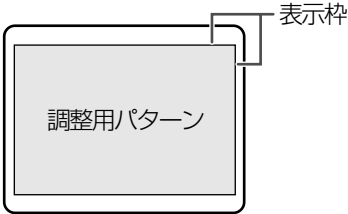
**3. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。**

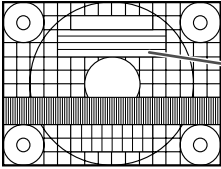
調整用パターンが表示されます。

調整用パターン

調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

***? Memo***

※ 使用するコンピュータの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

# 設定できる項目

*　デジタル接続でお使いの場合、調整する必要はありません。

** 調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。

## ■ 画面調整メニュー

デジタル接続でお使いの場合は、調整する必要はありません。
メニューの操作については、36ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 自動調整 | 「クロック」、「フェーズ」、「水平位置」、「垂直位置」を自動的に調整します。<br>詳しくは、24ページを参照してください。 |
| クロック | 調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整します。<br>縦じま状ノイズ |
| フェーズ | 「クロック」を正しく調整した後、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整します。<br>横じま状ノイズ |
| 水平位置、垂直位置 | 調整用パターン全体が画面内に表示されるように、左右と上下の位置を調整します。<br>表示枠<br>調整用パターン |
| リセット | 画面調整メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

## ■ 映像調整メニュー

デジタル接続でお使いの場合は、調整する必要はありません。
メニューの操作については、36ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 自動調整 | 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に、「黒レベル」と「コントラスト」の自動調整をします。 |
| 黒レベル | カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。<br>カラーパターン |
| コントラスト | カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。 |
| リセット | 映像調整メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

*? Memo*

**自動調整について**

※ 調整用パターンを利用しないときは、5mm×5mm以上の白色と黒色が表示されている必要があります。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
※ コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は、手動で調整してください。
※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

PCモード

## ■ 音声調整メニュー

ヘッドホン接続時や、モード選択メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは調整できません。
メニューの操作については、36ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 高音 | 高音を調整します。 |
| 低音 | 低音を調整します。 |
| バランス | 音声の左右のバランスを調整します。 |
| ドルビーバーチャル | バーチャルドルビーサラウンド機能を使うかどうかを設定します。<br>調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。（31ページ） |
| リセット | 音声調整メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

*? Memo*

※「高音」、「低音」、「バランス」は、「ドルビーバーチャル」が「切」に設定されている場合のみ調整できます。
※ 次のようなときには、テレビ／ビデオモードの音声調整メニューが表示されます。

- マルチ画面表示中にテレビやビデオの音声を選択しているとき（34、42ページ）
- コンピュータ画面表示中にテレビやビデオの音声を選択しているとき（35、41ページ）

## ■ カラー調整メニュー

メニューの操作については、36ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| カラーモード | 表示の色あいを選択します。<br>・標準 ………… 液晶モニター本来の色あいを生かした表示になります。<br>・sRGB ……… IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色あいでの表示になります。<br>・あざやか …. 原色をダイナミックに表示します。 |
| 色温度 | 白色の度合いを調整します。<br>※ すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。<br>・寒色 …………………. 標準設定よりも青みがかった色あい<br>・やや寒色 …………. 標準設定よりもやや青みがかった色あい<br>・標準 …………………. 標準設定<br>・やや暖色 …………. 標準設定よりもやや赤みがかった色あい<br>・暖色 …………………. 標準設定よりも赤みがかった色あい<br>・ユーザー設定……. 赤色コントラスト、緑色コントラスト、青色コントラストをそれぞれ調整します。 |
| リセット | カラー調整メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

**? Memo**

※「カラーモード」が「sRGB」か「あざやか」に設定されている場合、「色温度」は自動的に「標準」になります。

## ■ モード選択メニュー

メニューの操作については、36ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **画面サイズ** | 画面サイズを選択します。<br>・ノーマル ····· 画面の横縦比を変えずに表示します。画面の解像度が1024×768未満の場合は、拡大して表示します。<br>・フル ············ 画面全体に拡大して表示します。(横縦比が変わる場合があります。)<br>調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。(60ページ) |
| **480ライン解像度** | 480ライン画面の水平解像度を設定します。(アナログ接続時のみ)<br>・640 ··········· 640×480<br>・848 ··········· 848×480 |
| **768ライン解像度** | 768ライン画面の水平解像度を設定します。(アナログ接続時のみ)<br>・1024 ········ 1024×768<br>・1280 ········ 1280×768<br>・1360 ········ 1360×768 |
| **音声選択** | コンピュータ画面表示中に聞く音声を選択します。<br>※ マルチ画面表示時は、「マルチ画面音声切替」の設定が優先されます。 |
| **拡大補正レベル** | 拡大表示の画像のシャープさを調整します。 |
| **QS駆動** | 「する」に設定すると、動きの速い映像がくっきりと、より見やすくなります。<br>(QS:クイックシュート) |
| **音声出力選択** | 音声出力端子からの出力方法を設定します。<br>・固定 ············ ビデオデッキを接続して録画をする場合などには「固定」に設定してください。<br>音量レベルは固定されます。<br>出力端子から出力される映像と音声が一致します。<br>(出力端子から出力される映像、音声は、本機に表示される映像と本機のスピーカーの音声に対して、若干早く出力されます。)<br>・可変1 ·········· 本機の映像を見ながら、本機のスピーカーと外部スピーカー両方の音声を楽しむ場合などに設定してください。<br>音量レベルを調整できます。(31ページ)<br>本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。(出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。)<br>・可変2 ·········· 本機の映像を見ながら、外部スピーカーだけの音声を楽しむ場合などに設定してください。<br>音量レベルを調整できます。(31ページ)<br>ただし、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。(ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。)<br>本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。(出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。) |
| **リセット** | モード選択メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

## ■ マルチ画面メニュー

メニューの操作については、36ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| マルチ画面表示 | コンピュータの画面とテレビやビデオの映像を同時に表示するかどうかを設定します。<br>・しない<br>・子画面……………テレビやビデオの映像を小さな画面で表示します。<br>・2画面……………コンピュータの画面とテレビやビデオの映像を左右2画面で表示します。<br>調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。（33ページ） |
| 子画面サイズ | 子画面のサイズを切り替えます。 |
| 子画面表示位置 | 子画面の表示位置を調整します。<br>・上下に動かす……▲▼ボタン<br>・左右に動かす……◀ ▶ボタン<br>調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。（33ページ） |
| PC表示位置 | 子画面を表示させたときにコンピュータの画面を表示する位置を設定します。<br>※ コンピュータの画面サイズが「ノーマル」のときに有効です。 |
| マルチ画面入力切替 | マルチ画面に表示する映像を選択します。 |
| マルチ画面音声切替 | マルチ画面表示中に聞きたい音声を選択します。<br>・マルチ画面 ………テレビやビデオの音声<br>・PC ……………………コンピュータの音声 |
| リセット | マルチ画面メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

**? Memo**

※「子画面サイズ」、「子画面表示位置」、「PC表示位置」は、「マルチ画面表示」が「子画面」のときに設定できます。

PCモード

## 調整値の変更を防ぐ(調整ロック)

電源ボタン(本体・リモコンとも)以外の操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。
PCモードだけでなく、テレビモードとビデオモードの調整値も変更できなくなります。

※ 本体で操作します。

**1. 本機の電源を切る。**

**2. メニューボタンを押したまま、電源ボタンを押す(電源を入れる)。**
画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示するまで押し続けてください。

**3. 音量/明るさ＞ボタンを押す。**

### ■ 解除するには

※ 本体で操作します。

**1. 本機の電源を切る。**

**2. メニューボタンを押したまま、電源ボタンを押す(電源を入れる)。**
画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示するまで押し続けてください。

**3. 音量/明るさ＞ボタンを押す。**

***? Memo***

※ 調整ロックを設定(ロック設定)しているときは、本体ボタン・リモコンボタン共に、電源ボタン以外は押しても効きません。電源の入／切以外の操作をするときは、調整ロックを解除してください。

## すべての調整値を工場出荷時の状態に戻す(オールリセット)

PCモードだけでなく、テレビモードとビデオモードの調整値もすべてリセットされます。
調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

※ 本体で操作します。

**1. 本機の電源を切る。**

**2. メニューボタンと決定/省エネボタンを押したまま、電源ボタンを押す(電源を入れる)。**
画面に「オールリセット中」と表示するまで押し続けてください。メッセージが消えると、オールリセットは完了です。

***? Memo***

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

# セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)

お使いのコンピュータやOSによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になることがあります。その場合は、下記の手順でインストールしてください。(お使いのコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。)

**ICCプロファイルとは…**

ICC(インターナショナルカラーコンソーシアム)プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICCプロファイルに対応したアプリケーションで色の再現性を高めます。

※ ICCプロファイルは、Windows 98/2000/Me/XPに対応しています。

※ Windows 98/2000/Me/XP でセットアップ情報をインストールすると、ICCプロファイルも同時にインストールされます。ICCプロファイルだけをインストールしたいときは、46ページの「ICCプロファイルのインストール」をご覧ください。

※ ICCプロファイルを使用する場合は、「カラーモード」と「色温度」をそれぞれ「標準」に設定してください。

## セットアップ情報のインストール

### ■ Windows 95の場合

Windows 95に本機のセットアップ情報をインストールします。

CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. CD-ROM(付属)をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
   デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
6. 表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
9. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

### ■ Windows 98の場合

Windows 98に本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。

CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

**【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】**

1. CD-ROM(付属)をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。
6. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

**【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】**

1. CD-ROM(付属)をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

## ■ Windows 2000の場合

Windows 2000に本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. CD-ROM（付属）をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

## ■ Windows Meの場合

Windows Meに本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

**【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】**

1. CD-ROM（付属）をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。
6. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

**【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】**

1. CD-ROM（付属）をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

### ■ Windows XPの場合

Windows XPに本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. CD-ROM（付属）をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックし、「画面」をクリックする。
   クラシック表示の場合は、「画面」をダブルクリックしてください。
4. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
   ハードウェアの更新ウィザードが表示されます。
   「Windows Updateに接続しますか？」と表示された場合は、「いいえ、今回は接続しません」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。
6. 「一覧または特定の場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
   「Windows ロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
10. モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

## ICCプロファイルのインストール

本機のICCプロファイルをインストールします。（セットアップ情報をすでにインストールしている場合は、プロファイルも同時にインストールされていますので、この操作は不要です。）

1. CD-ROM（付属）をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
   Windows XPでカテゴリ表示の場合は、「デスクトップの表示とテーマ」をクリックし、「画面」をクリックしてください。
4. 「設定」、「詳細設定」の順にクリックする。
5. 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで、新しい表示の設定を適用する」を選び、「色の管理」をクリックする。
6. 「追加」をクリックし、ファイルの場所をCD-ROMにする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び、「既定値に設定」をクリックする。
9. 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。
10. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

※ ICCプロファイルを使用する場合は、「カラーモード」と「色温度」をそれぞれ「標準」に設定してください。

# ColorSyncプロファイルについて(MacOS)

**ColorSyncプロファイルとは…**

ColorSyncはアップルコンピュータ社のカラーマネージメントシステムで、対応したアプリケーションで色再現性を実現するための機能です。ColorSyncプロファイルには液晶モニターの色再現特性を記述しています。

※ 本機のColorSyncプロファイルは、MacOS8.5以降に対応しています。

※ ColorSyncプロファイルを使用する場合は、「カラーモード」と「色温度」をそれぞれ「標準」に設定してください。

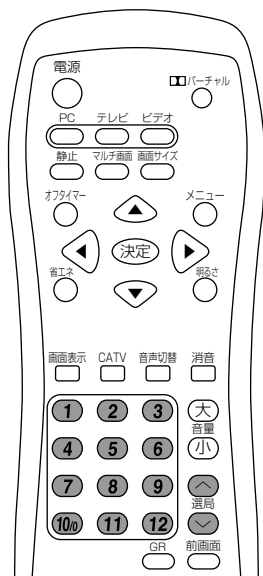
**ColorSyncプロファイルの設定方法**

※ システムに「PC Exchange」または「File Exchange」がインストールされている必要があります。

※ お使いのコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。

1. CD-ROM(付属)をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. CD-ROM内の使用するプロファイルを、システムフォルダ内のColorSyncプロファイルフォルダにコピーする。
3. コントロールパネルのColorSyncで、使用するプロファイルを選ぶ。

## テレビを見る

本機を初めて使用するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときには、チャンネル設定をしてください。(25ページ)
工場出荷時は、VHF1～12チャンネルがリモコン番号1～12チャンネルで映るように設定されています。

1. **チャンネルボタン(1-12)または選局ボタンを押す。**
   PCモードやビデオモードのときにボタンを押すと、自動的にテレビモードに切り替わります。
2. **音量を調整する。**
   詳しくは、31ページを参照してください。

**? Memo**

※ PCモードで次のようなときには、テレビボタンでテレビモードに切り替えてください。
- マルチ画面でテレビを見ているとき
- テレビの音声を聞いているとき

※ 本体の選局ボタンを使ってチャンネルを切り替えることもできます。

---

**アナログ放送からデジタル放送への移行について**

**デジタル放送への移行スケジュール**
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

**アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには**
別売のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や、横縦比(アスペクト比)はテレビの種類により異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

---

**? Memo**

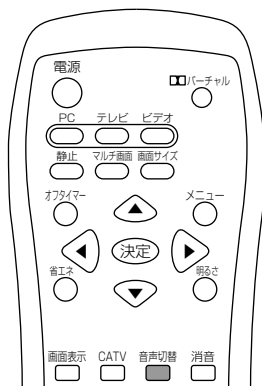
※ 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。

# 主音声／副音声やステレオ／モノラルを切り替える（音声切替）

二重音声放送やステレオ放送を受信しているときは、音声モードを切り替えることができます。
音声モードは、画面表示ボタンを押して表示されるチャンネルの色で確認できます。

| 二重音声放送 | 赤色 |
|---|---|
| ステレオ放送 | 黄色 |
| モノラル放送 | 緑色 |

## ■ 二重音声放送の主音声／副音声を切り替えるには

外国映画やニュースでは、主音声（日本語）と副音声（外国語）を切り替えられます。

**1. 音声切替ボタンを押す。**
押すたびに、以下の順に切り替わります。

主音声

10
メイン

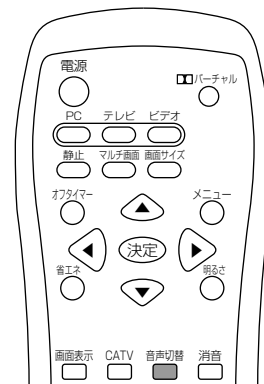
副音声

10
サブ

主音声＋副音声

10
メイン－サブ

## ■ ステレオ放送で雑音が多いときは

モノラルに切り替えると、聞きやすくなることがあります。

**1. 音声切替ボタンを押す。**
押すたびに、以下の順に切り替わります。

ステレオ

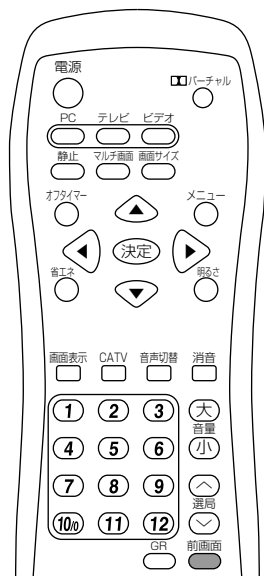
10
ステレオ

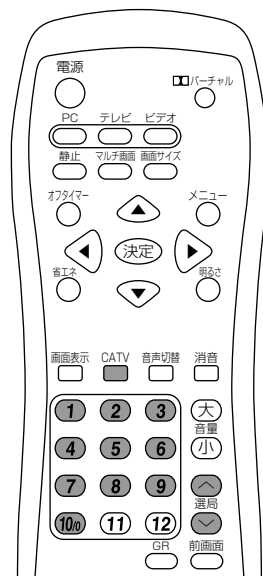
モノラル

10
モノラル

**? Memo**

※ モノラルにしておくと、雑音が少ないステレオ放送を受信していても、本機ではモノラル音声になります。通常は、ステレオにしておいてください。

## 直前のチャンネルに戻す(前画面)

1. **前画面ボタンを押す。**
   直前に見ていたチャンネルに切り替わります。

## ケーブルテレビのチャンネルを替える

1. **CATVボタンを押し、チャンネルボタン(1-10)を押す。**
   たとえば、C38チャンネルに替えるときは、「CATV」「3」「8」の順に押します。

C38

**? Memo**

※ 本体またはリモコンの選局ボタンで順に切り替えていくこともできます。その場合は、チャンネル設定メニューの「マニュアルメモリー」で「スキップ」を「切」に設定してください。

## 二重映像(ゴースト)を軽減する

GR(ゴーストリダクション)機能を使って、ゴーストによる映像の乱れを軽減させることができます。

**ゴーストとは**
- 放送局とテレビアンテナの間の障害物(高層ビル等)で電波が乱反射することにより、映像が二重になったりぼやけたりする現象です。
- 工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等さまざまな発生原因があり、完全にゴーストを消すことはできません。

**1. GRボタンを押す。**
GRの現在の設定が表示されます。

**2. GRボタンを押す。**
押すたびに、「入」と「切」が切り替わります。

**Memo**

※ GR機能の「入」「切」はチャンネルごとに設定されます。「マニュアルメモリー」であらかじめ設定しておくこともできます。(27ページ)
※ GR機能を「入」にすると、チャンネル表示時に「GR」が表示されます。
※ ゴーストの内容によっては、GR機能の動作に少し時間がかかる場合があります。
※ 次のような場合など、GR機能の効果が十分得られないことがあります。
- 放送局からゴースト除去信号が送られていない場合
- 飛行機などの反射によりゴーストが変動する場合
- ゴーストの電波が強い場合
- 外部機器からの映像を見る場合

※ GR機能を「入」にして見づらい場合は、「切」にしてください。
※ チャンネルを切り替えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
※ 電波が弱いときにGR機能を「入」にすると、新たにゴーストが発生する場合があります。
※ アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。

# DVDやゲームなどを楽しむ

ビデオやDVD、ゲーム機など、接続しているAV機器を楽しめます。（18ページ）

| | |
|---|---|
| **ビデオ1入力端子に接続した機器** | 画面モード「ビデオ1」 |
| **ビデオ2入力端子に接続した機器** | 画面モード「ビデオ2」 |
| **ビデオ3入力端子に接続した機器** | 画面モード「ビデオ3」 |

***Memo***

※ ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3とも同様の操作のため、本書ではビデオ1モード、ビデオ2モード、ビデオ3モードをまとめて「ビデオモード」と記載しています。

**1. ビデオボタンを押してビデオモードにする。**

ビデオボタンを押すたびに、ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ1...の順にビデオモードが切り替わります。

ビデオ1
映像

**2. 接続しているAV機器の電源を入れ、再生などの操作をする。**

**3. 音量を調整する。**

詳しくは、31ページを参照してください。

***Memo***

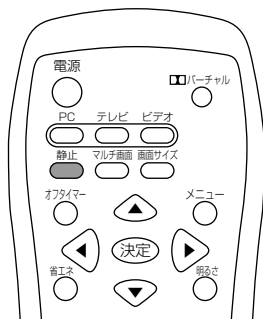
※ ビデオの高速サーチ中は、画像が表示されないことがあります。

※ ビデオデッキやビデオテープによっては、ビデオのスロー再生時に画面が乱れる（チラつく）ことがあります。

※ 本機のD4映像入力端子は、D1（525i）、D2（525p）、D3（1125i）、D4（750p）の映像の入力に対応しています。

※ 本機では、ゲーム用のピストルを使ったシューティングゲームはできません。

## 一時的に画面を止める(静止)

テレビや接続しているAV機器の映像を一時的に止められます。料理のレシピやプレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

**1. 静止ボタンを押す。**
映像が止まります。

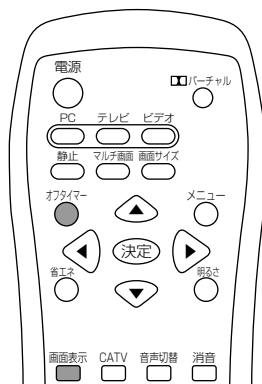
### ■ 解除するには

**1. もう一度、静止ボタンを押す。**

**? Memo**

※ マルチ画面の映像は止められません。
※ チャンネルを替えたり、画面モードを切り替えると、静止状態は自動的に解除されます。
※ 静止画面の表示中は、画面サイズは変更できません。また、画面調整メニューの調整はできません。

## 指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

指定した時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます(待機状態)。就寝時などに使うと便利です。

**1. オフタイマーボタンを押す。**

**2. オフタイマーボタンを数回押して時間を指定する。**
押すたびに、以下の順に切り替わります。
30分→60分→90分→120分→150分→
- - -分→30分...

指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れ、オフタイマーは解除されます。

**【オフタイマーの残り時間を確認するには】**

**1. 画面表示ボタンを押す。**
オフタイマーの残り時間が約5秒間表示されます。
オフタイマーボタンを1回押しても確認できます。

**【指定した時間を変更するには】**

**1. オフタイマーボタンを押す。**
残り時間が表示されます。

**2. オフタイマーボタンを数回押して時間を指定し直す。**

**? Memo**

※ オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が1分ごとに表示されます。
※ オフタイマー動作中に電源ボタンを押して電源を切ると、オフタイマーは解除されます。
※ PCモードに切り替えると、オフタイマーは自動的に解除されます。
※ モード選択メニューから設定することもできます。(58ページ)

# テレビ／ビデオモードの調整について

テレビとビデオの映像調整や各種モードの設定を行うことができます。

## 基本操作

**1. テレビボタンを押してテレビモードにする。**
**または、ビデオボタンを押してビデオモードにする。**

**2. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが表示されます。

**3. ▲▼ ボタンで設定するメニューを選ぶ。**

**4. 決定ボタンを押す。**
設定項目の一覧画面が表示されます。

**5. ▲▼ ボタンで設定する項目を選ぶ。**

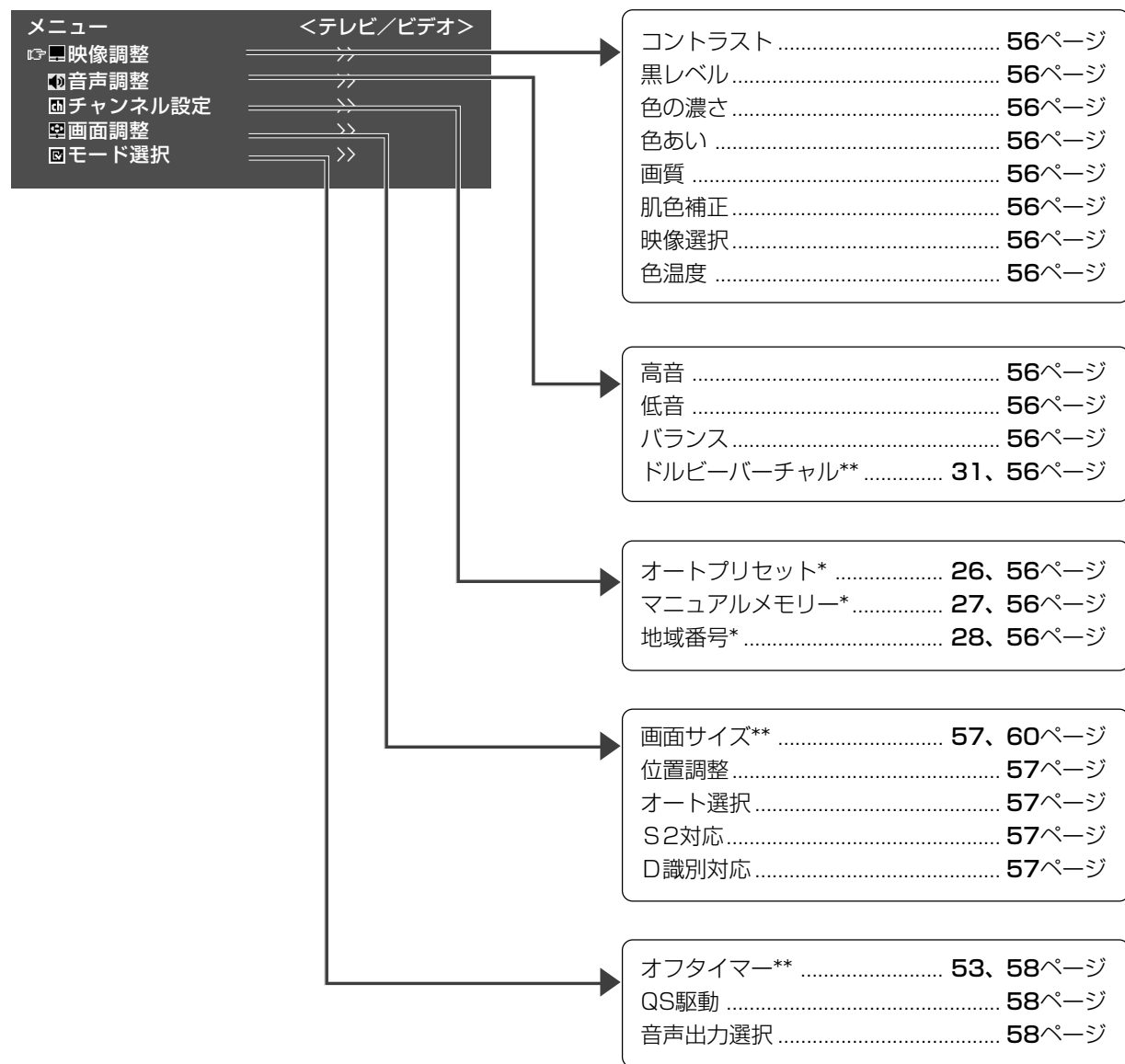
**6. 決定ボタンを押す。**

**7. ◀ ▶ ボタンで数字や値を変更する。**
続けて他の項目を設定することもできます。
ひとつ前の画面に戻すには
① ▲▼ ボタンで「戻る」を選ぶ。
② 決定ボタンを押す。

**8. メニューボタンを押す。**
調整用メニューが消えます。

***? Memo***

※ 調整用メニューは、約30秒間ボタン操作がないと、それまでの設定を有効にして自動的に消えます。

# 設定できる項目

* テレビモードのみ
** 調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。

## ■ 映像調整メニュー

メニューの操作については、54ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| コントラスト | コントラストを調整します。 |
| 黒レベル | 画面全体の明るさを調整します。 |
| 色の濃さ | 色の濃さを調整します。 |
| 色あい | 色あいを調整します。 |
| 画質 | 画質を調整します。 |
| 肌色補正 | 肌の色あいを調整します。 |
| 映像選択 | 表示する映像に合わせて選択すると、画質が改善されます。<br>※ S2映像入力端子やD4映像入力端子から入力される映像には、無効です。 |
| 色温度 | 白色の度合いを調整します。<br>・標準 ………… 標準設定<br>・暖色 ………… 標準設定よりも赤みがかった色あい |
| リセット | 映像調整メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

## ■ 音声調整メニュー

ヘッドホン接続時や、モード選択メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは調整できません。

メニューの操作については、54ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 高音 | 高音を調整します。 |
| 低音 | 低音を調整します。 |
| バランス | 音声の左右のバランスを調整します。 |
| ドルビーバーチャル | バーチャルドルビーサラウンド機能を使うかどうかを設定します。<br>調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。（31ページ） |
| リセット | 音声調整メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

**? Memo**

※「高音」、「低音」、「バランス」は、「ドルビーバーチャル」が「切」に設定されている場合のみ調整できます。



## ■ チャンネル設定メニュー（テレビモードのみ）

メニューの操作については、54ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| オートプリセット | オートプリセット（自動設定）を、する／しないで設定します。<br>詳しくは、26ページを参照してください。 |
| マニュアルメモリー | マニュアルメモリー（手動設定）を、する／しないで設定します。<br>詳しくは、27ページを参照してください。 |
| 地域番号 | 地域番号設定の地域番号を設定します。<br>詳しくは、28ページを参照してください。 |
| 実行 | チャンネル設定を実行します。 |

## ■ 画面調整メニュー

次の場合には調整できません。

※ 外部入力がD3(1125i)やD4(750p)の映像信号のとき

※ 静止画面を表示しているとき

メニューの操作については、54ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **画面サイズ** | 画面サイズを選択します。<br>・ノーマル ... 通常のテレビ画面サイズ(横縦比4：3)の映像を4：3のまま表示します。<br>・ワイド ....... 4：3の映像を横に伸ばして、画面全体(16：9)に表示します。<br>・シネマ1 .... 映画など上下に帯の入った映像(レターボックス映像)を画面全体(16：9)に拡大して表示します。<br>・シネマ2 .... 「シネマ1」で画面上下の字幕やテロップなどが切れる場合にお使いください。<br>・フル .......... 16：9から4：3に圧縮された映像(フル映像ソフト)を元の16：9に戻して画面全体に表示します。<br>・オート ....... S2映像入力端子かD4映像入力端子から入力されている映像を表示しているときに選べます。<br>映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に画面サイズを切り替えます。<br>調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。(60ページ)<br>※「オート」を選んだときは、「オート選択」「S2対応」「D識別対応」も設定してください。<br>※ 受信内容や映像ソフトによっては、画面の周囲が少し切れたり、周囲に黒い帯が残る場合もあります。 |
| **位置調整** | 「画面サイズ」が「オート」以外のとき、映像の位置を調整します。<br>・垂直位置 ... 上下の位置を調整します。<br>・水平位置 ... 左右の位置を調整します。<br>・リセット ... 上下左右の位置を工場出荷時に戻します。 |
| **オート選択** | 「画面サイズ」が「オート」のとき、4：3の映像をどのように表示するか選択します。<br>・ノーマル ... 4：3で表示します。<br>・ワイド ....... 16：9で表示します。 |
| **S2対応** | 「する」に設定すると、S2映像入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に画面サイズを切り替えます。<br>「しない」に設定すると、4：3の映像として「オート選択」で設定された画面サイズになります。<br>※「画面サイズ」が「オート」のときに有効です。 |
| **D識別対応** | 両端がD端子のケーブルで接続しているとき「する」に設定すると、入力された映像に含まれた画面サイズ制御信号を識別し、自動的に画面サイズを切り替えます。<br>「しない」に設定すると、4：3の映像として「オート選択」で設定された画面サイズになります。<br>※「画面サイズ」が「オート」のときに有効です。 |
| **リセット** | 画面調整メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

## ■ モード選択メニュー

メニューの操作については、54ページを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| オフタイマー | 電源が切れるまでの時間を指定します。<br>調整用の画面を使わずにリモコンで直接操作することもできます。（53ページ） |
| QS駆動 | 「する」に設定すると、スポーツ番組など、動きの速い映像がくっきりと、より見やすくなります。<br>（QS：クイックシュート） |
| 音声出力選択 | 音声出力端子からの出力方法を設定します。<br>・固定 .......... ビデオデッキを接続して録画をする場合などには「固定」に設定してください。<br>音量レベルは固定されます。<br>出力端子から出力される映像と音声が一致します。<br>（出力端子から出力される映像、音声は、本機に表示される映像と本機のスピーカーの音声に対して、若干早く出力されます。）<br>・可変1 ........ 本機の映像を見ながら、本機のスピーカーと外部スピーカー両方の音声を楽しむ場合などに設定してください。<br>音量レベルを調整できます。（31ページ）<br>本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。（出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。）<br>・可変2 ........ 本機の映像を見ながら、外部スピーカーだけの音声を楽しむ場合などに設定してください。<br>音量レベルを調整できます。（31ページ）<br>ただし、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。（ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。）<br>本機に表示される映像と、出力端子から出力される音声が一致します。（出力端子から出力される音声は、出力端子から出力される映像に対して、若干遅れて出力されます。） |
| リセット | モード選択メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻します。 |

## 調整値の変更を防ぐ（調整ロック）

電源ボタン（本体・リモコンとも）以外の操作ボタンを効かなくして（ロック設定）、調整後の内容の変更を防ぐことができます。
テレビモードとビデオモードだけでなく、PCモードの調整値も変更できなくなります。

※ 本体で操作します。

**1. 本機の電源を切る。**

**2. メニューボタンを押したまま、電源ボタンを押す（電源を入れる）。**
画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示するまで押し続けてください。

**3. 音量/明るさ＞ボタンを押す。**

### ■ 解除するには

※ 本体で操作します。

**1. 本機の電源を切る。**

**2. メニューボタンを押したまま、電源ボタンを押す（電源を入れる）。**
画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示するまで押し続けてください。

**3. 音量/明るさ＞ボタンを押す。**

***? Memo***

※ 調整ロックを設定（ロック設定）しているときは、本体ボタン・リモコンボタン共に、電源ボタン以外は押しても効きません。電源の入／切以外の操作をするときは、調整ロックを解除してください。

## すべての調整値を工場出荷時の状態に戻す（オールリセット）

テレビモードとビデオモードの調整値がリセットされるだけでなく、PCモードの調整値もすべてリセットされます。
調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

※ 本体で操作します。

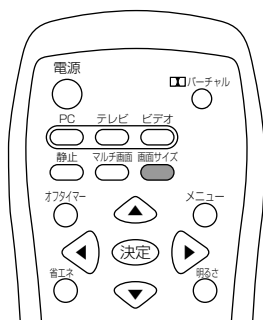
**1. 本機の電源を切る。**

**2. メニューボタンと決定/省エネボタンを押したまま、電源ボタンを押す（電源を入れる）。**
画面に「オールリセット中」と表示するまで押し続けてください。メッセージが消えると、オールリセットは完了です。

***? Memo***

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

## 画面サイズを変更する（画面サイズ）

ビデオやDVDなどの映像に合わせて画面サイズを変更できます。

【PCモードの場合】

**1. 画面サイズボタンを押す。**

押すたびに、以下の順に切り替わります。
ノーマル→フル→ノーマル…

| | |
|---|---|
| **ノーマル** | 画面の横縦比を変えずに表示。画面の解像度が1024×768未満の場合は、拡大して表示します。 |
| **フル** | 画面全体に拡大して表示。（横縦比が変わる場合があります。） |

**? Memo**

※ PCモードのモード選択メニューで設定することもできます。（41ページ）

【テレビ／ビデオモードの場合】

**1. 画面サイズボタンを押す。**

押すたびに、以下の順に切り替わります。
ノーマル→ワイド→シネマ1→シネマ2→フル→オート→ノーマル…

| | |
|---|---|
| **ノーマル** | 通常のテレビ画面サイズ（横縦比4：3）の映像を4：3のまま表示。 |
| **ワイド** | 4：3の映像を横に伸ばして、画面全体（16：9）に表示。 |
| **シネマ1** | 映画など上下に帯の入った映像（レターボックス映像）を画面全体（16：9）に拡大して表示。 |
| **シネマ2** | 「シネマ1」で画面上下の字幕やテロップなどが切れる場合にお使いください。 |
| **フル** | 16：9から4：3に圧縮された映像（フル映像ソフト）を元の16：9に戻して画面全体に表示。 |
| **オート** | S2映像入力端子かD4映像入力端子から入力されている映像を表示しているときに選べます。<br>映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に画面サイズを切り替えます。 |

**? Memo**

※ 「オート」を選んだときの画面サイズ変更方法を、画面調整メニューの「オート選択」「S2対応」「D識別対応」で設定できます。（57ページ）

※ 受信内容や映像ソフトによっては、画面の周囲が少し切れたり、周囲に黒い帯が残る場合があります。

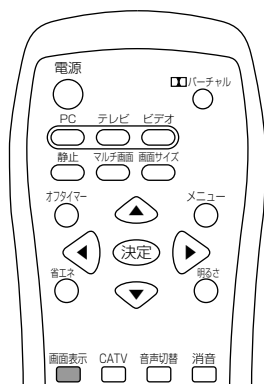
※ 外部入力がD3（1125i）やD4（750p）の映像信号のときは、画面サイズは変更できません。映像は16：9で表示されます。

※ テレビ／ビデオモードの画面調整メニューで設定することもできます。（57ページ）

※ 営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、画面サイズ機能を使って映像の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

※ 受信内容や映像ソフトによっては「オート」が正しく動作しないことがあります。

## チャンネルや音声モードを画面で確認する（画面表示）

現在の画面モードやチャンネル、音声モード、PC入力端子の種類、オフタイマー時間などが確認できます。

**1. 画面表示ボタンを押す。**
現在の状態を表す各種の情報が表示されます。

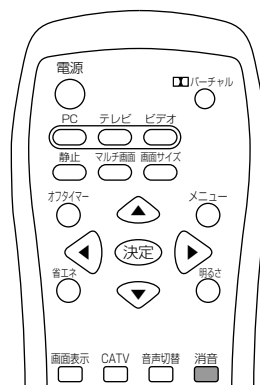
表示は数秒で消えます。

**? Memo**

※ 表示される内容は、画面モードや設定によって異なります。

※ 情報表示中にテレビの放送が切り替わると、放送と音声モードが一致しないことがあります。

## 一時的に音を消す（消音）

電話がかかってきたときや、不意の来客の応対など、一時的に音を消したいときに便利です。

**1. 消音ボタンを押す。**
音が消え、画面に「消音」と表示されます。
「消音」表示は数秒で消えます。

### ■ 解除するには

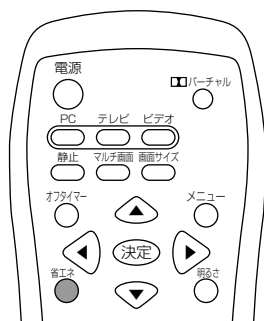
**1. もう一度、消音ボタンを押す。**

**? Memo**

※ 他のボタンを押すと消音が解除されて、押したボタンの操作が実行されます。

※ モード選択メニューの「音声出力選択」が「可変1」または「可変2」のとき、音声出力端子からの音声も消えます。

## 省エネモードで使う

画面の明るさを落とすことで、消費電力を下げることができます。「オフ」にすると映像が消え、音声だけが出力されます。

**1. 省エネボタンを押す。**
押すたびに、以下の順に切り替わります。
明るい→やや暗い：省エネ1→暗い：省エネ2→オフ→明るい…

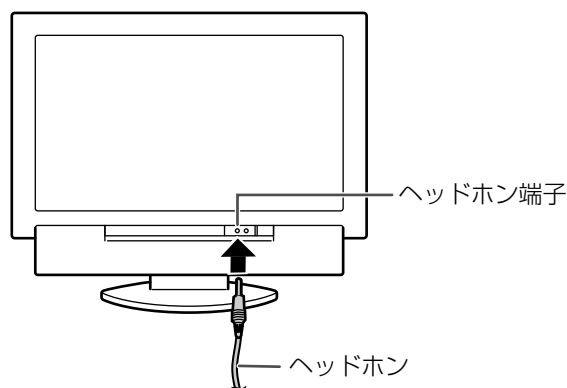
**? Memo**

※「オフ」のとき、音声切替、消音、バーチャルドルビーサラウンド、リモコンでの音量調整を行うと、「オフ」のまま操作が行われます。それ以外の操作を行うと、「明るい」で映像が表示され、操作が実行されます。

※ PCモードとテレビ／ビデオモードで個別に設定することができます。

※ 本体の決定/省エネボタンを使って設定することもできます。

## ヘッドホン(市販品)を使う

ヘッドホン(市販品)を接続することができます。
ステレオミニプラグ(φ3.5mm)の付いたヘッドホンを用意してください。

**? Memo**

※ ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。
また、モード選択メニューの「音声出力選択」が「可変1」または「可変2」に設定されているときは、音声出力端子からの音も聞こえなくなります。

※ ヘッドホン接続時はバーチャルドルビーサラウンド機能は使えません。また、音声調整メニューの調整はできません。

# 地域番号早見表

あ 会津若松市 - 021
青森市 ---- 010
明石市 ---- 063
昭島市 ---- 030
秋田市 ---- 015
阿久根市 - 095
上尾市 ---- 027
朝霞市 ---- 027
旭川市 ---- 002
足利市 ---- 027
厚木市 ---- 033
網走市 ---- 001
我孫子市 - 029
尼崎市 ---- 061
安城市 ---- 054
い 飯田市 ---- 045
池田市 ---- 061
生駒市 ---- 061
石巻市 ---- 014
和泉市 ---- 061
伊勢崎市 - 025
伊丹市 ---- 061
市川市 ---- 029
一宮市 ---- 054
市原市 ---- 029
茨木市 ---- 061
今治市 ---- 081
入間市 ---- 027
いわき市 - 020
岩国市 ---- 077
岩槻市 ---- 027
う 宇治市 ---- 060
宇都宮市 - 024
宇部市 ---- 076
浦安市 ---- 029
え 海老名市 - 033

え 江別市 ---- 001
お 青梅市 ---- 030
大分市 ---- 091
大垣市 ---- 047
大阪市 ---- 061
大館市 ---- 016
大津市 ---- 058
大牟田市 - 086
岡崎市 ---- 054
岡山市 ---- 070
沖縄市 ---- 096
小樽市 ---- 007
小田原市 - 035
帯広市 ---- 005
小山市 ---- 027
か 各務原市 - 048
加古川市 - 063
鹿児島市 - 094
橿原市 ---- 065
柏市 ------- 029
春日井市 - 054
春日部市 - 027
門真市 ---- 061
金沢市 ---- 041
鎌倉市 ---- 033
刈谷市 ---- 054
川口市 ---- 027
川越市 ---- 027
川崎市 ---- 033
河内長野市 - 061
川西市 ---- 064
き 木更津市 - 029
岸和田市 - 061
北九州市 - 084
北見市 ---- 009
岐阜市 ---- 047

き 京都市１ - 060
京都市２ - 098
桐生市 ---- 026
く 釧路市 ---- 004
熊谷市 ---- 028
熊本市 ---- 090
倉敷市 ---- 070
久留米市 - 085
呉市 ------- 073
こ 高知市 ---- 082
甲府市 ---- 043
神戸市 ---- 061
郡山市 ---- 019
小金井市 - 030
越谷市 ---- 027
小平市 ---- 030
小牧市 ---- 054
小松市 ---- 041
さ さいたま市 - 027
堺市 ------- 061
佐賀市 ---- 087
酒田市 ---- 018
相模原市 -- 033
佐倉市 ---- 029
佐世保市 - 089
札幌市 ---- 001
座間市 ---- 033
狭山市 ---- 027
し 静岡市 ---- 049
下関市 ---- 075
上越市 ---- 038
す 吹田市 ---- 061
鈴鹿市 ---- 057
せ 瀬戸市 ---- 054
仙台市 ---- 013
そ 草加市 ---- 027

た 大東市 ---- 061
高岡市 ---- 040
高崎市 ---- 025
高槻市 ---- 061
高松市 ---- 078
宝塚市 ---- 061
立川市 ---- 030
多摩市 ---- 032
ち 茅ヶ崎市 - 034
千葉市 ---- 029
調布市 ---- 030
つ 津市 ------- 057
つくば市 - 029
土浦市 ---- 029
鶴岡市 ---- 018
と 東京23区 - 030
徳島市 ---- 097
徳山市 ---- 074
所沢市 ---- 027
鳥取市 ---- 067
苫小牧市 - 006
富山市 ---- 039
豊川市 ---- 055
豊田市 ---- 056
豊中市 ---- 061
豊橋市 ---- 055
富田林市 - 061
な 長岡市 ---- 037
長崎市 ---- 088
長野市 ---- 044
流山市 ---- 029
名古屋市 - 054
那覇市 ---- 096
奈良市 ---- 065
習志野市 - 029
に 新潟市 ---- 037

に 新座市 ---- 027
新居浜市 - 080
西宮市 ---- 061
ぬ 沼津市 ---- 052
ね 寝屋川市 - 061
の 野田市 ---- 029
延岡市 ---- 093
は 函館市 ---- 003
秦野市 ---- 036
八王子市 - 031
八戸市 ---- 011
羽曳野市 - 061
浜田市 ---- 069
浜松市 ---- 050
半田市 ---- 054
ひ 東大阪市 - 061
東久留米市 - 030
東村山市 - 030
彦根市 ---- 059
日立市 ---- 023
ひたちなか市 -- 022
日野市 ---- 030
姫路市 ---- 062
枚方市 ---- 061
平塚市 ---- 034
弘前市 ---- 010
広島市 ---- 071
ふ 福井市 ---- 042
福岡市 ---- 083
福島市 ---- 019
福山市 ---- 072
藤枝市 ---- 053
藤沢市 ---- 033
富士市 ---- 051
富士宮市 - 051
府中市(東京) - 030

ふ 船橋市 ---- 029
へ 別府市 ---- 091
ほ 防府市 ---- 074
ま 前橋市 ---- 025
町田市 ---- 033
松江市 ---- 068
松阪市 ---- 057
松戸市 ---- 029
松原市 ---- 061
松本市 ---- 046
松山市 ---- 079
み 三郷市 ---- 027
三島市 ---- 052
三鷹市 ---- 030
水戸市 ---- 022
都城市 ---- 092
宮崎市 ---- 092
む 武蔵野市 - 030
室蘭市 ---- 008
も 盛岡市 ---- 012
守口市 ---- 061
や 矢板市 ---- 031
焼津市 ---- 049
八尾市 ---- 061
八千代市 - 029
八代市 ---- 090
山形市 ---- 017
山口市 ---- 074
大和市 ---- 033
よ 横須賀市 - 033
横浜市 ---- 033
四日市市 - 057
米子市 ---- 068
わ 和歌山市１ - 066
和歌山市２ - 099

**? Memo**

※ 2003年12月以降、順次お住まいの地域ごとに地上波デジタル放送が開始されています。下表の地域番号100〜107は、地上波デジタル放送の開始に伴い、受信チャンネルが変更された場合に設定してください。

| 都道府県 | 都　市　名 | 地域番号 | 都道府県 | 都　市　名 | 地域番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 栃木 | 矢　板　市 | 100 | 東京 | 八　王　子　市 | 104 |
| | 宇　都　宮　市 | 101 | | 多　摩　市 | 105 |
| 群馬 | 桐　生　市 | 102 | 岐阜 | 各　務　原　市 | 106 |
| 埼玉 | 熊　谷　市 | 103 | 和歌山 | 和　歌　山　市　1 | 107 |

付録

# 地域番号一覧表

地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。（2003年12月現在）
※の付いた都市名については、66ページ下のメモをご覧ください。

| 都道府県 | リモコン番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 都市名 | 地域番号 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 |
| 工場出荷設定 | | 000 | 1<br>1 | 2<br>2 | 3<br>3 | 4<br>4 | 5<br>5 | 6<br>6 | 7<br>7 | 8<br>8 | 9<br>9 | 10<br>10 | 11<br>11 | 12<br>12 |
| 北海道 | 札幌 | 001 | 1<br>北海道放送 | 2 | 3<br>NHK総合 | 17<br>テレビ北海道 | 5<br>札幌テレビ | 6 | 27<br>北海道文化放送 | 8 | 35<br>北海道テレビ | 10 | 11 | 12<br>NHK教育 |
| | 旭川 | 002 | 1 | 2<br>NHK教育 | 33<br>テレビ北海道 | 37<br>北海道文化放送 | 39<br>北海道テレビ | 6 | 7<br>札幌テレビ | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>北海道放送 | 12 |
| | 函館 | 003 | 21<br>テレビ北海道 | 27<br>北海道文化放送 | 35<br>北海道テレビ | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>北海道放送 | 7 | 8 | 9 | 10<br>NHK教育 | 11 | 12<br>札幌テレビ |
| | 釧路 | 004 | 1 | 2<br>NHK教育 | 39<br>北海道テレビ | 41<br>北海道文化放送 | 5 | 6 | 7<br>札幌テレビ | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>北海道放送 | 12 |
| | 帯広 | 005 | 32<br>北海道文化放送 | 2 | 34<br>北海道テレビ | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>北海道放送 | 7 | 8 | 9 | 10<br>札幌テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| | 苫小牧 | 006 | 47<br>テレビ北海道 | 49<br>NHK教育 | 51<br>NHK総合 | 53<br>北海道文化放送 | 55<br>北海道放送 | 57<br>札幌テレビ | 61<br>北海道テレビ | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 小樽 | 007 | 24<br>テレビ北海道 | 2<br>NHK教育 | 26<br>北海道文化放送 | 4<br>北海道テレビ | 5 | 6 | 7<br>札幌テレビ | 8 | 9<br>北海道放送 | 10 | 11<br>NHK総合 | 12 |
| | 室蘭 | 008 | 1 | 2<br>NHK教育 | 29<br>テレビ北海道 | 37<br>北海道文化放送 | 39<br>北海道テレビ | 6 | 7<br>札幌テレビ | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>北海道放送 | 12 |
| | 北見 | 009 | 1 | 2<br>NHK教育 | 3 | 4 | 59<br>北海道文化放送 | 61<br>北海道テレビ | 7<br>札幌テレビ | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 53<br>北海道放送 | 12 |
| 青森 | 青森 | 010 | 1<br>青森放送テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>NHK教育 | 6 | 38<br>青森テレビ | 8 | 34<br>青森朝日放送 | 10 | 11 | 12 |
| | 八戸 | 011 | 1 | 2 | 33<br>青森テレビ | 4 | 31<br>青森朝日放送 | 6 | 7<br>NHK教育 | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>青森放送テレビ | 12 |
| 岩手 | 盛岡 | 012 | 1 | 2 | 3 | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>IBCテレビ | 7 | 8<br>NHK教育 | 31<br>岩手朝日テレビ | 35<br>テレビ岩手 | 11 | 33<br>めんこいテレビ |
| 宮城 | 仙台 | 013 | 1<br>東北放送 | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>NHK教育 | 6 | 32<br>東日本放送 | 8 | 34<br>宮城テレビ | 10 | 11 | 12<br>仙台放送 |
| | 石巻 | 014 | 59<br>東北放送 | 2 | 51<br>NHK総合 | 4 | 49<br>NHK教育 | 6 | 61<br>東日本放送 | 8 | 55<br>宮城テレビ | 10 | 11 | 57<br>仙台放送 |
| 秋田 | 秋田 | 015 | 1 | 2<br>NHK教育 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9<br>NHK総合 | 31<br>秋田朝日放送 | 11<br>秋田放送テレビ | 37<br>秋田テレビ |
| | 大館 | 016 | 1 | 2<br>(NHK教育) | 3 | 4<br>(NHK総合) | 5 | 6<br>(秋田放送テレビ) | 7 | 8<br>NHK教育 | 9<br>NHK総合 | 59<br>秋田朝日放送 | 11<br>秋田放送テレビ | 57<br>秋田テレビ |
| 山形 | 山形 | 017 | 1 | 2 | 3 | 4<br>NHK教育 | 5 | 36<br>テレビユー山形 | 30<br>さくらんぼテレビ | 8<br>NHK総合 | 9 | 10<br>山形放送 | 11 | 38<br>山形テレビ |
| | 鶴岡 | 018 | 1<br>山形放送 | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5 | 6<br>NHK教育 | 7 | 39<br>山形テレビ | 9 | 22<br>テレビユー山形 | 11 | 24<br>さくらんぼテレビ |
| 福島 | 福島 | 019 | 1 | 2<br>NHK教育 | 31<br>テレビユー福島 | 4 | 33<br>福島中央テレビ | 6 | 35<br>福島放送 | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>福島テレビ | 12 |
| | いわき | 020 | 1 | 62<br>テレビユー福島 | 3 | 4<br>NHK総合 | 5 | 58<br>福島中央テレビ | 7 | 8<br>福島テレビ | 9 | 10<br>NHK教育 | 11 | 60<br>福島放送 |
| | 会津若松 | 021 | 1<br>NHK総合 | 2 | 3<br>NHK教育 | 4 | 5 | 6<br>福島テレビ | 7 | 47<br>テレビユー福島 | 9 | 37<br>福島中央テレビ | 11 | 41<br>福島放送 |
| 茨城 | 水戸 | 022 | 44<br>NHK総合 | 2 | 46<br>NHK教育 | 42<br>日本テレビ | 5 | 40<br>TBSテレビ | 7 | 38<br>フジテレビ | 9 | 36<br>テレビ朝日 | 11 | 32<br>テレビ東京 |
| | 日立 | 023 | 52<br>NHK総合 | 2 | 50<br>NHK教育 | 54<br>日本テレビ | 5 | 56<br>TBSテレビ | 7 | 58<br>フジテレビ | 9 | 60<br>テレビ朝日 | 11 | 62<br>テレビ東京 |
| 栃木※ | 宇都宮※ | 024 | 29<br>NHK総合 | 2 | 27<br>NHK教育 | 25<br>日本テレビ | 5 | 23<br>TBSテレビ | 7 | 21<br>フジテレビ | 31<br>とちぎテレビ | 19<br>テレビ朝日 | 11 | 17<br>テレビ東京 |
| 群馬 | 前橋 | 025 | 52<br>NHK総合 | 2 | 50<br>NHK教育 | 54<br>日本テレビ | 40<br>放送大学 | 56<br>TBSテレビ | 7 | 58<br>フジテレビ | 9 | 60<br>テレビ朝日 | 48<br>群馬テレビ | 62<br>テレビ東京 |
| | 桐生※ | 026 | 43<br>NHK総合 | 2 | 45<br>NHK教育 | 39<br>日本テレビ | 40<br>放送大学 | 37<br>TBSテレビ | 7 | 35<br>フジテレビ | 9 | 33<br>テレビ朝日 | 41<br>群馬テレビ | 31<br>テレビ東京 |
| 埼玉 | さいたま | 027 | 1<br>NHK総合 | 2 | 3<br>NHK教育 | 4<br>日本テレビ | 16<br>放送大学 | 6<br>TBSテレビ | 7 | 8<br>フジテレビ | 38<br>テレビ埼玉 | 10<br>テレビ朝日 | 11 | 12<br>テレビ東京 |
| | 熊谷※ | 028 | 33<br>NHK総合 | 2 | 35<br>NHK教育 | 25<br>日本テレビ | 5 | 23<br>TBSテレビ | 16<br>放送大学 | 21<br>フジテレビ | 28<br>テレビ埼玉 | 19<br>テレビ朝日 | 11 | 17<br>テレビ東京 |
| 千葉 | 千葉 | 029 | 1<br>NHK総合 | 2 | 3<br>NHK教育 | 4<br>日本テレビ | 16<br>放送大学 | 6<br>TBSテレビ | 7 | 8<br>フジテレビ | 42<br>テレビ神奈川 | 10<br>テレビ朝日 | 46<br>千葉テレビ | 12<br>テレビ東京 |
| 東京 | 23区 | 030 | 1<br>NHK総合 | 2 | 3<br>NHK教育 | 4<br>日本テレビ | 14<br>東京ﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ | 6<br>TBSテレビ | 38<br>テレビ埼玉 | 8<br>フジテレビ | 42<br>テレビ神奈川 | 10<br>テレビ朝日 | 46<br>千葉テレビ | 12<br>テレビ東京 |
| | 八王子※ | 031 | 51<br>NHK総合 | 2 | 49<br>NHK教育 | 53<br>日本テレビ | 47<br>東京ﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ | 55<br>TBSテレビ | 7 | 57<br>フジテレビ | 9 | 59<br>テレビ朝日 | 11 | 61<br>テレビ東京 |
| | 多摩※ | 032 | 30<br>NHK総合 | 2 | 32<br>NHK教育 | 26<br>日本テレビ | 28<br>東京ﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ | 24<br>TBSテレビ | 7 | 22<br>フジテレビ | 9 | 20<br>テレビ朝日 | 11 | 18<br>テレビ東京 |
| 神奈川 | 横浜 | 033 | 1<br>NHK総合 | 2 | 3<br>NHK教育 | 4<br>日本テレビ | 16<br>放送大学 | 6<br>TBSテレビ | 7 | 8<br>フジテレビ | 42<br>テレビ神奈川 | 10<br>テレビ朝日 | 11 | 12<br>テレビ東京 |
| | 茅ヶ崎 | 034 | 33<br>NHK総合 | 2 | 29<br>NHK教育 | 35<br>日本テレビ | 5 | 37<br>TBSテレビ | 7 | 39<br>フジテレビ | 31<br>テレビ神奈川 | 41<br>テレビ朝日 | 11 | 43<br>テレビ東京 |
| | 小田原 | 035 | 52<br>NHK総合 | 2 | 50<br>NHK教育 | 54<br>日本テレビ | 5 | 56<br>TBSテレビ | 7 | 58<br>フジテレビ | 46<br>テレビ神奈川 | 60<br>テレビ朝日 | 11 | 62<br>テレビ東京 |
| | 秦野 | 036 | 47<br>NHK総合 | 2 | 49<br>NHK教育 | 51<br>日本テレビ | 5 | 53<br>TBSテレビ | 7 | 55<br>フジテレビ | 61<br>テレビ神奈川 | 57<br>テレビ朝日 | 11 | 59<br>テレビ東京 |
| 新潟 | 新潟 | 037 | 21<br>新潟テレビ21 | 2 | 29<br>テレビ新潟 | 4 | 5<br>新潟放送 | 6 | 7 | 8<br>NHK総合 | 9 | 35<br>新潟総合テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| | 上越 | 038 | 1<br>NHK教育 | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5 | 37<br>新潟テレビ21 | 7 | 27<br>テレビ新潟 | 9 | 10<br>新潟放送 | 11 | 33<br>新潟総合テレビ |
| 富山 | 富山 | 039 | 1<br>北日本テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10<br>NHK教育 | 32<br>チューリップ | 34<br>富山テレビ |
| | 高岡 | 040 | 50<br>北日本テレビ | 2 | 48<br>NHK総合 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 46<br>NHK教育 | 42<br>チューリップ | 44<br>富山テレビ |

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| リモコン番号 | | | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 |
| 石川 | 金沢 | 041 | 1 | 2 | 3 | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>MROテレビ | 25<br>北陸朝日放送 | 8<br>NHK教育 | 9 | 33<br>テレビ金沢 | 11 | 37<br>石川テレビ |
| 福井 | 福井 | 042 | 39<br>福井テレビ | 2 | 3<br>NHK教育 | 4 | 5 | 6<br>MROテレビ | 7 | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>FBCテレビ | 12 |
| 山梨 | 甲府 | 043 | 1<br>NHK総合 | 2 | 3<br>NHK教育 | 4 | 5<br>山梨放送 | 6 | 37<br>テレビ山梨 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 長野 | 長野 | 044 | 1 | 44<br>NHK総合 | 50<br>長野朝日放送 | 4 | 40<br>テレビ信州 | 6 | 42<br>長野放送 | 8 | 46<br>NHK教育 | 10 | 48<br>信越放送 | 12 |
| | 飯田 | 045 | 44<br>長野朝日放送 | 2 | 3<br>NHK教育 | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>信越放送 | 7 | 42<br>テレビ信州 | 9 | 40<br>長野放送 | 11 | 12 |
| | 松本 | 046 | 1 | 44<br>NHK総合 | 50<br>長野朝日放送 | 4 | 48<br>テレビ信州 | 6 | 42<br>長野放送 | 8 | 46<br>NHK教育 | 10 | 40<br>信越放送 | 12 |
| 岐阜 | 岐阜 | 047 | 1<br>東海テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>CBCテレビ | 6 | 35<br>中京テレビ | 8 | 9<br>NHK教育 | 10 | 11<br>名古屋テレビ | 37<br>岐阜放送 |
| | 各務原※ | 048 | 1<br>東海テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>CBCテレビ | 6 | 35<br>中京テレビ | 8 | 9<br>NHK教育 | 10 | 11<br>名古屋テレビ | 28<br>岐阜放送 |
| 静岡 | 静岡 | 049 | 1 | 2<br>NHK教育 | 31<br>静岡第1テレビ | 4 | 33<br>静岡朝日テレビ | 6 | 35<br>テレビ静岡 | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>静岡放送 | 12 |
| | 浜松 | 050 | 1 | 30<br>静岡第1テレビ | 3 | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>静岡放送 | 7 | 8<br>NHK教育 | 9 | 28<br>静岡朝日テレビ | 11 | 34<br>テレビ静岡 |
| | 富士 | 051 | 1 | 54<br>NHK教育 | 27<br>静岡第1テレビ | 4 | 29<br>静岡朝日テレビ | 6 | 39<br>テレビ静岡 | 8 | 52<br>NHK総合 | 10 | 41<br>静岡放送 | 12 |
| | 沼津 | 052 | 1 | 51<br>NHK教育 | 61<br>静岡第1テレビ | 4 | 57<br>静岡朝日テレビ | 6 | 59<br>テレビ静岡 | 8 | 53<br>NHK総合 | 10 | 55<br>静岡放送 | 12 |
| | 藤枝 | 053 | 1 | 44<br>NHK教育 | 24<br>静岡第1テレビ | 4 | 26<br>静岡朝日テレビ | 6 | 38<br>テレビ静岡 | 8 | 42<br>NHK総合 | 10 | 40<br>静岡放送 | 12 |
| 愛知 | 名古屋 | 054 | 1<br>東海テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>CBCテレビ | 6 | 35<br>中京テレビ | 8 | 9<br>NHK教育 | 10 | 11<br>名古屋テレビ | 25<br>テレビ愛知 |
| | 豊橋 | 055 | 56<br>東海テレビ | 2 | 54<br>NHK総合 | 4 | 62<br>CBCテレビ | 6 | 58<br>中京テレビ | 8 | 50<br>NHK教育 | 10 | 60<br>名古屋テレビ | 52<br>テレビ愛知 |
| | 豊田 | 056 | 57<br>東海テレビ | 2 | 53<br>NHK総合 | 4 | 55<br>CBCテレビ | 6 | 59<br>中京テレビ | 8 | 51<br>NHK教育 | 10 | 61<br>名古屋テレビ | 49<br>テレビ愛知 |
| 三重 | 津 | 057 | 1<br>東海テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>CBCテレビ | 6 | 35<br>中京テレビ | 8 | 9<br>NHK教育 | 33<br>三重テレビ | 11<br>名古屋テレビ | 25<br>テレビ愛知 |
| 滋賀 | 大津 | 058 | 1 | 28<br>NHK総合 | 3 | 36<br>毎日テレビ | 5 | 38<br>ABCテレビ | 7 | 40<br>関西テレビ | 9 | 42<br>読売テレビ | 30<br>びわ湖放送 | 46<br>NHK教育 |
| | 彦根 | 059 | 1 | 52<br>NHK総合 | 3 | 54<br>毎日テレビ | 56<br>びわ湖放送 | 58<br>ABCテレビ | 7 | 60<br>関西テレビ | 9 | 62<br>読売テレビ | 11 | 50<br>NHK教育 |
| 京都 | 京都1 | 060 | 1 | 2<br>NHK総合 | 36<br>サンテレビ | 4<br>毎日テレビ | 19<br>テレビ大阪 | 6<br>ABCテレビ | 34<br>京都テレビ | 8<br>関西テレビ | 26<br>奈良テレビ | 10<br>読売テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| | 京都2 | 098 | 32<br>NHK京都 | 2<br>NHK総合 | 34<br>京都テレビ | 4<br>毎日テレビ | 21<br>テレビ大阪 | 6<br>ABCテレビ | 7 | 8<br>関西テレビ | 9 | 10<br>読売テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| 大阪 | 大阪 | 061 | 1 | 2<br>NHK総合 | 36<br>サンテレビ | 4<br>毎日テレビ | 19<br>テレビ大阪 | 6<br>ABCテレビ | 34<br>京都テレビ | 8<br>関西テレビ | 9 | 10<br>読売テレビ | 30<br>テレビ和歌山 | 12<br>NHK教育 |
| 兵庫 | 神戸 | 061 | 1 | 2<br>NHK総合 | 36<br>サンテレビ | 4<br>毎日テレビ | 19<br>テレビ大阪 | 6<br>ABCテレビ | 34<br>京都テレビ | 8<br>関西テレビ | 9 | 10<br>読売テレビ | 30<br>テレビ和歌山 | 12<br>NHK教育 |
| | 姫路 | 062 | 1 | 50<br>NHK総合 | 56<br>サンテレビ | 54<br>毎日テレビ | 5 | 58<br>ABCテレビ | 7 | 60<br>関西テレビ | 9 | 62<br>読売テレビ | 11 | 52<br>NHK教育 |
| | 明石 | 063 | 1 | 51<br>NHK総合 | 55<br>サンテレビ | 53<br>毎日テレビ | 19<br>テレビ大阪 | 57<br>ABCテレビ | 7 | 59<br>関西テレビ | 9 | 61<br>読売テレビ | 30<br>テレビ和歌山 | 49<br>NHK教育 |
| | 川西 | 064 | 1 | 29<br>NHK総合 | 33<br>サンテレビ | 35<br>毎日テレビ | 5 | 37<br>ABCテレビ | 7 | 39<br>関西テレビ | 9 | 41<br>読売テレビ | 11 | 31<br>NHK教育 |
| 奈良 | 奈良 | 065 | 1 | 2<br>NHK総合 | 36<br>サンテレビ | 4<br>毎日テレビ | 19<br>テレビ大阪 | 6<br>ABCテレビ | 62<br>奈良テレビ | 8<br>関西テレビ | 55<br>(奈良テレビ) | 10<br>読売テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| 和歌山 | 和歌山1※ | 066 | 1 | 32<br>NHK総合 | 3 | 42<br>毎日テレビ | 5 | 44<br>ABCテレビ | 7 | 46<br>関西テレビ | 9 | 48<br>読売テレビ | 30<br>テレビ和歌山 | 26<br>NHK教育 |
| | 和歌山2 | 099 | 1 | 50<br>NHK総合 | 3 | 54<br>毎日テレビ | 5 | 58<br>ABCテレビ | 7 | 60<br>関西テレビ | 9 | 62<br>読売テレビ | 56<br>テレビ和歌山 | 52<br>NHK教育 |
| 鳥取 | 鳥取 | 067 | 1<br>日本海テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4<br>NHk教育 | 5 | 6 | 7 | 24<br>山陰中央テレビ | 9 | 22<br>BSSテレビ | 11 | 12 |
| 島根 | 松江 | 068 | 30<br>日本海テレビ | 2 | 34<br>山陰中央テレビ | 4 | 5 | 6<br>NHK総合 | 7 | 8 | 9 | 10<br>BSSテレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| | 浜田 | 069 | 1 | 2<br>NHK総合 | 54<br>日本海テレビ | 4 | 5<br>BSSテレビ | 6 | 7 | 58<br>山陰中央テレビ | 9<br>NHK教育 | 10 | 11 | 12 |
| 岡山 | 岡山 | 070 | 23<br>テレビせとうち | 2 | 3<br>NHK教育 | 4 | 5<br>NHK総合 | 25<br>瀬戸内海テレビ | 35<br>OHKテレビ | 8 | 9<br>西日本放送 | 10 | 11<br>山陽放送 | 12 |
| 広島 | 広島 | 071 | 31<br>テレビ新広島 | 2 | 3<br>NHK総合 | 4<br>RCCテレビ | 5 | 6 | 7<br>NHK教育 | 8 | 9 | 35<br>広島ホームテレビ | 11 | 12<br>広島テレビ |
| | 福山 | 072 | 1<br>NHK総合 | 2 | 24<br>広島ホームテレビ | 4 | 26<br>テレビ新広島 | 6 | 7<br>NHK教育 | 8 | 9 | 10<br>RCCテレビ | 11 | 12<br>広島テレビ |
| | 呉 | 073 | 1<br>NHK教育 | 2 | 24<br>広島ホームテレビ | 4 | 5<br>広島テレビ | 6 | 26<br>テレビ新広島 | 8 | 9<br>RCCテレビ | 10 | 11<br>NHK総合 | 12 |
| 山口 | 山口 | 074 | 1<br>NHK教育 | 2 | 3 | 4 | 52<br>山口朝日放送 | 6 | 38<br>テレビ山口 | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>山口テレビ | 12 |
| | 下関 | 075 | 41<br>NHK教育 | 2<br>九州朝日放送 | 23<br>TVQ九州放送 | 4<br>山口テレビ | 21<br>山口朝日放送 | 6<br>(NHK総合) | 33<br>テレビ山口 | 8<br>RKB毎日放送 | 39<br>NHK総合 | 10<br>テレビ西日本 | 35<br>福岡放送 | 12<br>(NHK教育) |
| | 宇部 | 076 | 14<br>NHK教育 | 2<br>九州朝日放送 | 3 | 4 | 31<br>山口朝日放送 | 6<br>(NHK総合) | 20<br>テレビ山口 | 8<br>RKB毎日放送 | 16<br>NHK総合 | 10<br>テレビ西日本 | 18<br>山口テレビ | 12 |
| | 岩国 | 077 | 1<br>NHK教育 | 2 | 3 | 4<br>RCCテレビ | 22<br>テレビ山口 | 6 | 28<br>山口朝日放送 | 8 | 9<br>NHK総合 | 10<br>南海テレビ | 11<br>山口テレビ | 12<br>広島テレビ |

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | リモコン番号 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 |
| 徳島 | 徳島 | 097 | 1<br>四国テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4<br>毎日テレビ | 5 | 6<br>ABCテレビ | 7 | 8<br>関西テレビ | 9 | 10<br>読売テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| 香川 | 高松 | 078 | 33<br>瀬戸内海テレビ | 2 | 39<br>NHK教育 | 4 | 37<br>NHK総合 | 6 | 31<br>OHKテレビ | 8 | 41<br>西日本放送 | 10 | 29<br>山陽放送 | 19<br>テレビせとうち |
| 愛媛 | 松山 | 079 | 1 | 2<br>NHK教育 | 3 | 29<br>あいテレビ | 25<br>愛媛朝日テレビ | 6<br>NHK総合 | 7 | 37<br>テレビ愛媛 | 9 | 10<br>南海テレビ | 11 | 35<br>広島ホームテレビ |
| | 新居浜 | 080 | 1 | 2<br>NHK総合 | 3 | 4<br>NHK教育 | 14<br>愛媛朝日テレビ | 6<br>南海テレビ | 7 | 36<br>テレビ愛媛 | 9 | 10 | 27<br>あいテレビ | 12 |
| | 今治 | 081 | 1 | 30<br>NHK教育 | 3 | 27<br>あいテレビ | 14<br>愛媛朝日テレビ | 32<br>NHK総合 | 7 | 36<br>テレビ愛媛 | 9 | 34<br>南海テレビ | 11 | 38<br>広島ホームテレビ |
| 高知 | 高知 | 082 | 1 | 2 | 3 | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>NHK教育 | 7 | 8<br>高知放送 | 9 | 38<br>テレビ高知 | 11 | 40<br>高知さんさんテレビ |
| 福岡 | 福岡 | 083 | 1<br>九州朝日放送 | 2 | 3<br>NHK総合 | 4<br>RKB毎日放送 | 5 | 6<br>NHK教育 | 7 | 8 | 9<br>テレビ西日本 | 10 | 19<br>TVQ九州放送 | 37<br>福岡放送 |
| | 北九州 | 084 | 1 | 2<br>九州朝日放送 | 23<br>TVQ九州放送 | 35<br>福岡放送 | 5 | 6<br>NHK総合 | 7 | 8<br>RKB毎日放送 | 9 | 10<br>テレビ西日本 | 11 | 12<br>NHK教育 |
| | 久留米 | 085 | 57<br>九州朝日放送 | 2 | 46<br>NHK総合 | 48<br>RKB毎日放送 | 5 | 54<br>NHK教育 | 7 | 8 | 60<br>テレビ西日本 | 10 | 14<br>TVQ九州放送 | 52<br>福岡放送 |
| | 大牟田 | 086 | 58<br>九州朝日放送 | 19<br>TVQ九州放送 | 53<br>NHK総合 | 61<br>RKB毎日放送 | 5 | 50<br>NHK教育 | 7 | 8 | 55<br>テレビ西日本 | 10 | 43<br>福岡放送 | 12 |
| 佐賀 | 佐賀 | 087 | 19<br>TVQ九州放送 | 36<br>サガテレビ | 40<br>NHK教育 | 38<br>NHK総合 | 48<br>RKB毎日放送 | 52<br>福岡放送 | 57<br>九州朝日放送 | 60<br>テレビ西日本 | 9<br>(NHK総合) | 10 | 11<br>熊本放送 | 12 |
| 長崎 | 長崎 | 088 | 1<br>NHK教育 | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>長崎放送 | 6 | 37<br>テレビ長崎 | 8 | 27<br>長崎文化放送 | 10 | 25<br>長崎国際テレビ | 12 |
| | 佐世保 | 089 | 1 | 2<br>NHK教育 | 3 | 17<br>長崎国際テレビ | 5 | 31<br>長崎文化放送 | 7 | 8<br>NHK総合 | 9 | 10<br>長崎放送 | 11 | 35<br>テレビ長崎 |
| 熊本 | 熊本 | 090 | 1 | 2<br>NHK教育 | 16<br>熊本朝日放送 | 4 | 22<br>熊本県民テレビ | 6 | 34<br>テレビ熊本 | 8 | 9<br>NHK総合 | 10 | 11<br>熊本放送 | 12 |
| 大分 | 大分 | 091 | 1<br>(NHK教育) | 2 | 3<br>NHK総合 | 34<br>あいテレビ | 5<br>大分テレビ | 6<br>(NHK総合) | 36<br>テレビ大分 | 32<br>テレビ愛媛 | 24<br>大分朝日放送 | 10<br>南海テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |
| 宮崎 | 宮崎 | 092 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 35<br>テレビ宮崎 | 7 | 8<br>NHK総合 | 9 | 10<br>宮崎放送 | 11 | 12<br>NHK教育 |
| | 延岡 | 093 | 1 | 2<br>NHK教育 | 3 | 4<br>NHK総合 | 5 | 6<br>宮崎放送 | 7 | 39<br>テレビ宮崎 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 鹿児島 | 鹿児島 | 094 | 1<br>南日本放送 | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>NHK教育 | 6 | 32<br>鹿児島放送 | 8 | 38<br>鹿児島テレビ | 10 | 30<br>鹿児島読売テレビ | 12 |
| | 阿久根 | 095 | 1 | 30<br>鹿児島読売テレビ | 3 | 23<br>鹿児島放送 | 5 | 35<br>鹿児島テレビ | 7 | 8<br>NHK総合 | 9 | 10<br>南日本放送 | 11 | 12<br>NHK教育 |
| 沖縄 | 那覇 | 096 | 1 | 2<br>NHK総合 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8<br>沖縄テレビ | 28<br>琉球朝日放送 | 10<br>琉球放送テレビ | 11 | 12<br>NHK教育 |

**? Memo**

※ 2003年12月以降、順次お住まいの地域ごとに地上波デジタル放送が開始されています。下表の地域番号100～107は、地上波デジタル放送の開始に伴い、受信チャンネルが変更された場合に設定してください。受信チャンネル(アナログ周波数)は、中継局によって異なる場合があります。

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | リモコン番号 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 | 受信チャンネル<br>放送局名 |
| 栃木 | 矢坂 | 100 | 40<br>NHK総合 | 2 | 30<br>NHK教育 | 36<br>日本テレビ | 33<br>とちぎテレビ | 42<br>TBSテレビ | 7 | 45<br>フジテレビ | 9 | 59<br>テレビ朝日 | 11 | 61<br>テレビ東京 |
| | 宇都宮 | 101 | 51<br>NHK総合 | 2 | 49<br>NHK教育 | 53<br>日本テレビ | 5 | 55<br>TBSテレビ | 7 | 57<br>フジテレビ | 31<br>とちぎテレビ | 41<br>テレビ朝日 | 11 | 44<br>テレビ東京 |
| 群馬 | 桐生 | 102 | 51<br>NHK総合 | 2 | 57<br>NHK教育 | 53<br>日本テレビ | 40<br>放送大学 | 55<br>TBSテレビ | 7 | 35<br>フジテレビ | 9 | 59<br>テレビ朝日 | 41<br>群馬テレビ | 61<br>テレビ東京 |
| 埼玉 | 熊谷 | 103 | 51<br>NHK総合 | 2 | 35<br>NHK教育 | 53<br>日本テレビ | 5 | 55<br>TBSテレビ | 16<br>放送大学 | 57<br>フジテレビ | 30<br>テレビ埼玉 | 59<br>テレビ朝日 | 11 | 61<br>テレビ東京 |
| 東京 | 八王子 | 104 | 33<br>NHK総合 | 2 | 29<br>NHK教育 | 35<br>日本テレビ | 40<br>東京メトロポリタン | 37<br>TBSテレビ | 7 | 31<br>フジテレビ | 9 | 45<br>テレビ朝日 | 11 | 62<br>テレビ東京 |
| | 多摩 | 105 | 49<br>NHK総合 | 2 | 47<br>NHK教育 | 51<br>日本テレビ | 61<br>東京メトロポリタン | 53<br>TBSテレビ | 7 | 55<br>フジテレビ | 9 | 57<br>テレビ朝日 | 11 | 59<br>テレビ東京 |
| 岐阜 | 各務原 | 106 | 1<br>東海テレビ | 2 | 3<br>NHK総合 | 4 | 5<br>CBCテレビ | 6 | 35<br>中京テレビ | 8 | 9<br>NHK教育 | 10 | 11<br>名古屋テレビ | 41<br>岐阜放送 |
| 和歌山 | 和歌山1 | 107 | 1 | 32<br>NHK総合 | 3 | 42<br>毎日テレビ | 5 | 44<br>ABCテレビ | 7 | 46<br>関西テレビ | 9 | 48<br>読売テレビ | 30<br>テレビ和歌山 | 25<br>NHK教育 |

※ 受信チャンネル番号と放送局名は変更になることがあります。

# アーム(VESA規格準拠)の取り付け方

市販のアーム(VESA規格準拠)を取り付けることができます。

※ 以下の点に注意してお選びください。

- VESA規格に対応し、本機に取り付ける部分のネジ穴が6箇所で、間隔が100mmのもの
- 本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

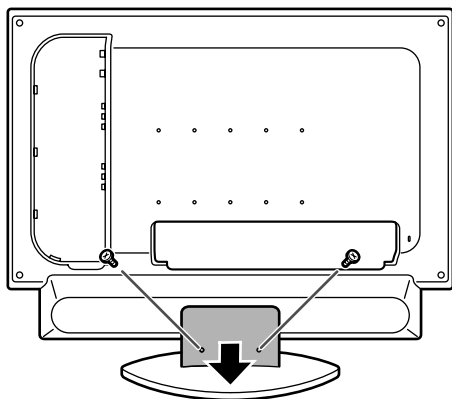
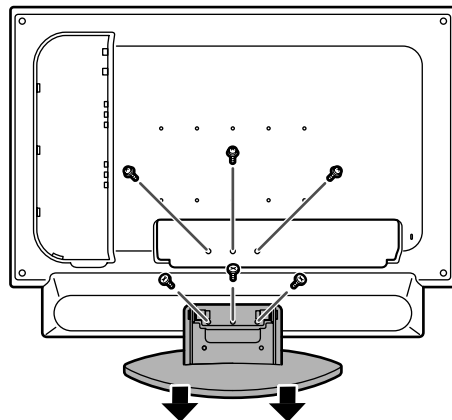
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

※ 本書とともに、アームの取扱説明書もよくお読みください。

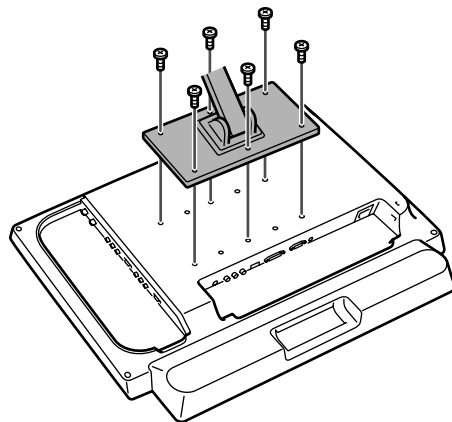
⚠ 注意 **指をはさんだり、スタンドを落としたりしないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。**
**排気孔や通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、発熱や発火の原因となることがあります。**

**1. 端子カバーを外し、ケーブルを取り外す。**
端子カバーの外し方は、7ページを参照してください。

**2. 安定した水平な場所に柔らかい布を敷き、表示部を下向きにして置く。**

**3. ネジ(2本)を外して、スタンド裏面のカバーを取る。**

**4. ネジ(6本)を外して、スタンドを外す。**

※ スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

※ 取り外したネジは、スタンドとともに保管してください。もう一度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると故障などの原因になります。

**5. アームをネジ(6本)で固定する。**

※ 固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが12〜14mmのM4を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、本機内部の破損の原因になります。

**6. ケーブルを接続し、端子カバーを取り付ける。**
端子カバーの取り付け方は、7ページを参照してください。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

**本機で使用している蛍光管には寿命があります。**

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※ 蛍光管の特性上、使い始めの頃に画面がチラつくことがありますが、故障ではありません。その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

| 症状 | 確認してください |
|---|---|
| 画面に何も表示されない<br>（電源ランプが点灯しない） | ・電源コードは正しく接続されていますか。（23ページ）<br>・電源は入っていますか。（29ページ） |
| 画面に何も表示されない<br>（電源ランプがオレンジ色に点灯している） | ・コンピュータと正しく接続されていますか。（14、15ページ）<br>・コンピュータの電源は入っていますか。<br>・コンピュータ信号の入力端子は正しく選択されていますか。（32ページ）<br>・コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（73ページ）<br>・コンピュータの省電力機能が動作していませんか。<br>※ キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。 |
| コンピュータ画面が乱れている | ・コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（73ページ）<br>・アナログ接続でお使いの場合は、画面の自動調整をしてください。（24ページ）<br>・お使いのコンピュータで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（73ページ） |
| リモコンで操作できない | ・リモコンの電池が消耗していませんか。<br>・リモコンの電池の向きは正しいですか。（11ページ）<br>・調整ロックが設定されていませんか。（43、59ページ） |
| テレビ映像が映らない | ・アンテナケーブルが接続されていますか。外れていませんか。（16ページ）<br>・テレビモードに切り替えていますか。（29ページ）<br>・チャンネルは正しく設定されていますか。（25ページ）<br>・省エネモードが「オフ」になっていませんか。（62ページ） |
| 特定のチャンネルが映らない | ・チャンネルは正しく設定されていますか。（25ページ） |
| テレビ映像にはん点やしまが出る<br>映像が揺れる | ・自動車・電車・ネオン・コンピュータなどから雑音電波を受けていませんか。<br>※ アンテナをできるだけ道路やネオンから離れた場所に立ててください。<br>※ アンテナケーブルがコンピュータの近くを通っているときは離してください。 |
| テレビ映像が二重になる | ・アンテナの方向がずれていませんか。<br>※ 近くに山や大きな建物・樹木がある場合、反射電波の影響が考えられます。アンテナの向きや高さを変えてみてください。<br>・GR（ゴーストリダクション）機能で軽減できる場合があります。（51ページ） |
| 色のしま模様が出る | ・近くのテレビから妨害電波を受けていませんか。<br>※ アンテナの向きや高さを調整すると、良くなる場合があります。 |
| テレビ映像が乱れる | ・一度電源を切り、数秒間隔を空けて電源を入れ直してみてください。 |
| ビデオ映像が映らない<br>ゲーム画面にならない | ・ケーブルは正しく接続されていますか。（18～21ページ）<br>・ビデオモードに切り替えていますか。（29ページ）<br>・省エネモードが「オフ」になっていませんか。（62ページ）<br>・接続先機器の電源が入っていますか。 |

| 症状 | 確認してください |
|---|---|
| テレビ映像、ビデオ映像が動かない | ・静止状態になっていませんか。（53ページ） |
| 音が聞こえない | ・オーディオケーブルやRCAピンケーブルは正しく接続されていますか。（15、18～21ページ）<br>・消音になっていませんか。（61ページ）<br>・ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。また、モード選択メニューの「音声出力選択」が「可変1」または「可変2」に設定されているときは、音声出力端子からの音も聞こえなくなります。<br>・モード選択メニューの「音声出力選択」が「可変2」に設定されているときは、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。<br>・音量を調整してください。（31ページ）<br>・本機がパワーセーブ状態になっていると、スピーカーの音は鳴りません。 |
| 操作ボタンが効かない<br>調整用の画面が表示されない | ・調整ロックが設定されていませんか。（43、59ページ） |
| 操作ボタンが効かない<br>リモコンのボタンが効かない<br>画面に何も映らない | ・外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。<br>※ 一度本体の電源を入れ直し、動作を確認してください。<br>※ それでも解決しないときは、電源プラグをコンセントに差し直し、動作を確認してください。 |
| 電源ランプが赤色に点滅している | ・排気孔のファンが異常です。<br>電源を切った後、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。 |
| 「Temperature」のメッセージが表示された | ・異常により機器内部の温度が上昇すると表示されます。その後、自動的に電源が切れて待機状態になります。<br>次の点を確認してから、電源を入れ直してください。<br>※ 本機の設置状態や場所が、温度の上がりやすい状態にないか。<br>※ 排気孔や通風孔がふさがれていないか。<br>※ 排気孔や通風孔にほこりがたまっていないか。<br>ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。（機器内部にほこりがたまっている場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。） |

# お手入れ・保管・アフターサービスについて

## お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ■ キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

### ■ 液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。(レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。)

**! ご注意**

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

**? Memo**

※ 本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

## 保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**! ご注意**

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

## アフターサービスについて

### ■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はお買いあげの日から1年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

### ■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

### ■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

**ご連絡していただきたい内容**

- 品名:液晶マルチメディアモニター
- 形名:IL-26M1 / IT-26M1
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご住所(付近の目印も併せてお知らせください。)
- お名前
- 電話番号
- 訪問希望日

**保証期間中**

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

**保証期間が過ぎているときは**

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

**修理料金のしくみ**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
|---|---|
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。 |

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

**お客様ご相談窓口のご案内**(次ページ)

# お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は……　**修理相談窓口** へ
・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は……　**お客様相談センター** へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2004年11月現在)

## 修理相談窓口

**パソコン修理相談センター**

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前９時～午後６時　※日曜日・祝日：午前10時～午後５時 (年末年始を除く)

0570-01-4649

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注)携帯電話・PHSからはナビダイヤルをご利用いただけません。
　　下記一般電話番号におかけください。

携帯電話／PHSの方は一般電話へ.................... 東日本地区 043-351-1831　西日本地区 06-6792-5613

◎修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

＜受付時間＞※月曜日～金曜日：午前９時～午後５時30分 (土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

| 担当地域 | 拠点名 | 郵便番号 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 札幌 | 〒063-0801 | 札幌市西区二十四軒１条７丁目３－１７ |
| | 帯広 | 〒080-0011 | 帯広市西１条南２６丁目１９－１ |
| | 室蘭 | 〒050-0074 | 室蘭市中島町１－９ |
| | 釧路 | 〒085-0051 | 釧路市光陽町８－１３ |
| | 旭川 | 〒070-0031 | 旭川市一条通４丁目左１０ |
| | 函館 | 〒040-0001 | 函館市五稜郭町３１－１７ |
| 青森県 | 青森 | 〒030-0121 | 青森市妙見３－３－４ |
| | 弘前 | 〒036-8101 | 弘前市豊田３－５－１ |
| | 八戸 | 〒031-0802 | 八戸市小中野２－８－１６ |
| 秋田県 | 秋田 | 〒010-0941 | 秋田市川尻町大川反１７０－５６ |
| 岩手県 | 岩手 | 〒020-0891 | 紫波郡矢巾町流通センター南３－１－１ |
| | 釜石 | 〒026-0054 | 釜石市野田町１－１０－３２ |
| 宮城県 | 仙台 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東３－１－２７ |
| 山形県 | 山形 | 〒990-2332 | 山形市飯田２－７－４３ |
| 福島県 | 福島 | 〒963-0111 | 郡山市安積町荒井方八丁３３－１ |
| | いわき | 〒970-8033 | いわき市自由ケ丘３７－１０ |
| 新潟県 | 新潟 | 〒950-0993 | 新潟市上所中１－７－２１ |
| 栃木県 | 宇都宮 | 〒320-0833 | 宇都宮市不動前４－２－４１ |
| 群馬県 | 群馬 | 〒371-0855 | 前橋市問屋町１－３－７ |
| 茨城県 | 茨城 | 〒310-0851 | 水戸市千波町１９６３ |
| 埼玉県 | さいたま | 〒331-0812 | さいたま市北区宮原町２－１０７－２ |
| 東京都 | 江東 | 〒130-0011 | 東京都墨田区石原２－１２－３ |
| | 城南 | 〒143-0025 | 東京都大田区南馬込１－５－１５ |
| | 東京 | 〒114-0013 | 東京都北区東田端２－１３－１７ |
| | 多摩 | 〒191-0003 | 日野市日野台５－５－４ |
| 千葉県 | 幕張 | 〒261-8520 | 千葉市美浜区中瀬１－９－２ |
| | 千葉 | 〒270-2231 | 松戸市稔台２９５－１ |
| | 東千葉 | 〒289-2132 | 八日市場市高字東２７７９－４ |
| | 木更津 | 〒299-0115 | 市原市不入斗１５５５－１ |
| 神奈川県 | 横浜 | 〒235-0036 | 横浜市磯子区中原１－２－２３ |
| | 湘南 | 〒254-0013 | 平塚市田村４－１４－３６ |
| | 相模原 | 〒229-1122 | 相模原市横山２－２－１２ |
| 山梨県 | 山梨 | 〒400-0049 | 甲府市富竹２－１－１７ |
| 静岡県 | 静岡 | 〒424-0067 | 静岡市清水鳥坂１１７０番１ |
| | 沼津 | 〒410-0062 | 沼津市宮前町１１－４ |
| | 浜松 | 〒430-0803 | 浜松市植松町１４７６－２ |
| 長野県 | 松本 | 〒399-0002 | 松本市芳野８－１４ |
| | 長野 | 〒388-8014 | 長野市篠ノ井塩崎東田沢６８７７－１ |
| 愛知県 | 名古屋 | 〒454-8721 | 名古屋市中川区山王３－５－５ |
| | 岡崎 | 〒444-0065 | 岡崎市柿田町１－２１ |
| | 豊橋 | 〒440-0086 | 豊橋市下地町橋口１７－１ |
| 岐阜県 | 岐阜 | 〒500-8358 | 岐阜市六条南３－１２－９ |
| 三重県 | 三重 | 〒514-0102 | 津市栗真町屋町蒲池３２８ |
| 富山県 | 富山 | 〒930-0906 | 富山市新庄北町５－６３ |
| 石川県 | 金沢 | 〒921-8801 | 石川郡野々市町御経塚４－１０３ |
| 福井県 | 福井 | 〒918-8206 | 福井市北四ツ居町６２５ |
| 滋賀県 | 滋賀 | 〒520-2151 | 大津市栗林町１１－３５ |
| 京都府 | 京都 | 〒601-8102 | 京都市南区上鳥羽菅田町４８ |
| | 北近畿 | 〒620-0054 | 福知山市末広町６－１３ |
| 大阪府 | 恵美須 | 〒556-0003 | 大阪市浪速区恵美須西１－２－９ |
| | 大阪 | 〒547-8510 | 大阪市平野区加美南３－７－１９ |
| | 南大阪 | 〒597-0062 | 貝塚市沢１２１５ |
| | 北大阪 | 〒567-0831 | 茨木市鮎川５－１５－３ |
| 兵庫県 | 阪神 | 〒661-0981 | 兵庫県尼崎市猪名寺３－２－１０ |
| | 姫路 | 〒671-2222 | 姫路市青山５－７－７ |
| 奈良県 | 奈良 | 〒639-1103 | 大和郡山市美濃庄町４９２ |
| 和歌山県 | 和歌山 | 〒641-0031 | 和歌山市西小二里２－４－９１ |
| | 南紀 | 〒646-0051 | 田辺市稲成町８０－２ |
| 鳥取県 | 鳥取 | 〒680-0942 | 鳥取市湖山町東4-27-1 |
| 岡山県 | 岡山 | 〒701-0301 | 都窪郡早島町矢尾８２８ |
| 島根県 | 松江 | 〒690-0017 | 松江市西津田３－１－１０ |
| 広島県 | 広島 | 〒731-0113 | 広島市安佐南区西原２－１３－４ |
| | 東広島 | 〒739-0142 | 東広島市八本松東４－３－３０ |
| | 福山 | 〒720-0841 | 福山市津之郷町津之郷２７２－１ |
| 山口県 | 山口 | 〒754-0024 | 吉敷郡小郡町若草町４－１２ |
| | 東山口 | 〒744-0011 | 下松市西豊井１７３－１ |
| 香川県 | 高松 | 〒760-0065 | 高松市朝日町６－２－８ |
| 徳島県 | 徳島 | 〒770-0813 | 徳島市中常三島町３－１１－１４ |
| 愛媛県 | 愛媛 | 〒791-8036 | 松山市高岡町１７８－１ |
| 高知県 | 高知 | 〒781-8104 | 高知市高須１－１４－４３ |
| 福岡県 | 福岡 | 〒816-0081 | 福岡市博多区井相田２－１２－１ |
| | 南福岡 | 〒839-0812 | 久留米市山川安居野３－１２－４７ |
| | 北九州 | 〒803-0814 | 北九州市小倉北区大手町６－１２ |
| 長崎県 | 長崎 | 〒856-0817 | 大村市古賀島町６１３－３ |
| 大分県 | 大分 | 〒870-0913 | 大分市松原町３－５－３ |
| 熊本県 | 熊本 | 〒862-0975 | 熊本市新屋敷３－１５－１７ |
| | 天草 | 〒863-0021 | 本渡市港町１９－３ |
| 宮崎県 | 宮崎 | 〒880-0007 | 宮崎市原町４－１２ |
| 鹿児島県 | 鹿児島 | 〒890-0064 | 鹿児島市鴨池新町１２－１ |
| | 奄美 | 〒894-0035 | 名瀬市塩浜町８－１ |
| 沖縄県 | 那覇 | 〒900-0002 | 那覇市曙２－１０－１ |
| | 先島 | 〒906-0013 | 平良市下里２１４－４ |

## お客様相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前９時～午後６時　※日曜日・祝日：午前10時～午後５時 (年末年始を除く)

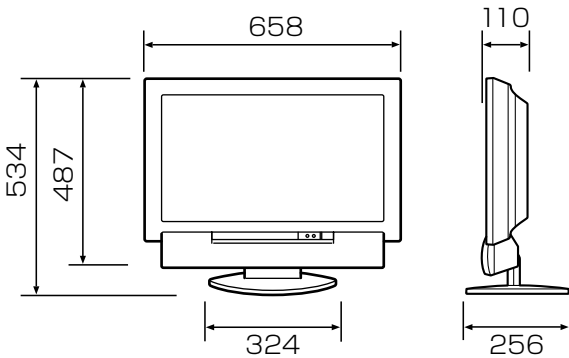
東日本相談室　電話 **043-299-8021**　FAX 043-299-8280　〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-9-2
西日本相談室　電話 **06-6794-8021**　FAX 06-6792-5993　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町 3-1-72

付録

# 主な仕様

## ■ 製品仕様

| 項目 | 仕様 |
| --- | --- |
| 機種名 | IL-26M1 / IT-26M1 |
| 液晶表示素子 | 26型（対角64.8cm）ASV方式低反射ブラックTFT液晶 |
| 最大解像度 | 1366×768 |
| 最大表示色 | 約1677万色（8ビット） |
| 画素ピッチ | 水平0.4135mm×垂直0.4135mm |
| 最大輝度 | 500cd/m$^2$<br>※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。 |
| コントラスト比 | 800：1 |
| 視野角 | 左右170°／上下170°（コントラスト比≧10） |
| 表示画面サイズ | 横564.8mm×縦317.6mm |
| 映像入力信号 | アナログRGB(0.7Vp-p)［75Ω］<br>デジタルDVI規格1.0準拠 |
| 同期入力信号 | 水平／垂直セパレート（TTL：正／負）、シンク・オン・グリーン、コンポジット・シンク（TTL：正／負） |
| ビデオ信号方式 | NTSC |
| 拡大補正 | デジタルスケーリング（VGA/SVGA/XGAなどを補正して拡大表示）<br>[拡大表示（全画面、アスペクト比固定）]<br>※1：1での表示はできません。 |
| プラグ＆プレイ | VESA DDC2B対応 |
| パワーマネージメント | VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠 |
| スピーカー出力 | 総合14W |
| 入力端子 | コンピュータ信号<br>アナログ：ミニD-sub15ピン（3列）（1系統）<br>デジタル：DVI-D24ピン（1系統）<br>コンピュータ音声：φ3.5mmミニステレオジャック（1系統）<br>ビデオ映像：RCAピン（3系統）<br>D4映像：2系統<br>S2映像：2系統<br>音声：RCAピン（L/R 3系統）<br>アンテナ：F-Type |
| 出力端子 | ビデオ映像：RCAピン（1系統）<br>S2映像：1系統<br>音声：RCAピン（L/R 1系統）<br>ヘッドホン：φ3.5mmミニステレオジャック<br>アンテナ：F-Type |
| 受信チャンネル（テレビ） | VHF：1～12、UHF：13～62、CATV：C13～C63 |
| 画面角度調整 | チルト：上向きに約0～15°／下向きに約0～5°<br>スイーベル：左右合わせて約90°（ターンテーブル式） |
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 使用温度条件 | 5～35℃ |
| 消費電力 | 123W*、待機時2.5W、パワーセーブ時2.5W<br>*省エネモードが「明るい」のとき。「省エネ1」時は80W、「省エネ2」時は67W。 |
| 外形寸法 | 幅約658mm×奥行約256mm×高さ約534mm |
| 質量 | 約20.5kg（信号ケーブル含まず）、約16.5kg（ディスプレイ部のみ） |
| 梱包時寸法 | 幅約825mm×奥行約350mm×高さ約695mm |
| 梱包時質量 | 約28kg |

## ■外形寸法図(単位mm)

**付属ケーブルの長さ**

PCアナログ信号ケーブル：約1.8m
PCオーディオケーブル　：約1.8m
アンテナケーブル　　　：約4m
電源コード　　　　　　：約1.8m

**別売ケーブルの長さ**

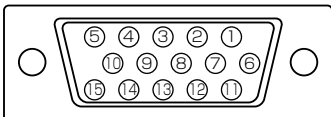
デジタル信号ケーブル（NL-C04J）：約2.0m

## ■ 対応信号タイミング(PCモード)

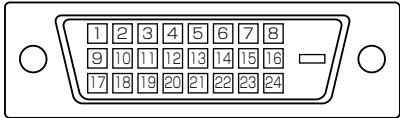
| 画面解像度 | | 水平周波数 | 垂直周波数 | ドット周波数 | アナログ | デジタル |
|---|---|---|---|---|---|---|
| VESA<br>・IBM AT 互換機<br>・PC-9800 シリーズ | 640×480 | 31.5kHz | 60Hz | 25.175MHz | ○ | ○ |
| | | 37.9kHz | 72Hz | 31.5MHz | ○ | ○ |
| | | 37.5kHz | 75Hz | 31.5MHz | ○ | ○ |
| | 800×600 | 35.1kHz | 56Hz | 36.0MHz | ○ | ― |
| | | 37.9kHz | 60Hz | 40.0MHz | ○ | ○ |
| | | 48.1kHz | 72Hz | 50.0MHz | ○ | ○ |
| | | 46.9kHz | 75Hz | 49.5MHz | ○ | ○ |
| | 1024×768 | 48.4kHz | 60Hz | 65.0MHz | ○ | ○ |
| | | 56.5kHz | 70Hz | 75.0MHz | ○ | ○ |
| | | 60.0kHz | 75Hz | 78.75MHz | ○ | ○ |
| ワイド | 848×480 | 31.1kHz | 60Hz | 33.3MHz | ○ | ― |
| | 1280×720 | 44.7kHz | 60Hz | 74.4MHz | ○ | ― |
| | 1280×768 | 47.986kHz | 60Hz | 81.0MHz | ○ | ○ |
| | | 60.15kHz | 75Hz | 102.977MHz | ○ | ― |
| | 1360×768 | 47.7kHz | 60Hz | 84.7MHz | ○ | ― |
| US TEXT | 720×400 | 31.5kHz | 70Hz | 28.3MHz | ○ | ○ |
| Power Macintosh シリーズ | 640×480 | 35.0kHz | 66.7Hz | 30.2MHz | ○ | ― |
| | 832×624 | 49.7kHz | 74.6Hz | 57.3MHz | ○ | ― |
| | 1024×768 | 60.2kHz | 75Hz | 80.0MHz | ○ | ― |

※ 推奨解像度は、1360×768、1280×768、1024×768です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 接続するコンピュータによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。
※ Power Macintoshシリーズの各周波数は参考値です。接続には市販の変換アダプターが必要になることがあります。
※ デジタル接続の場合、DVI準拠の出力端子(DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン)を持つコンピュータと接続できます。(接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

## ■ アナログ信号入力端子のピン配列

（ミニD-sub15ピン）

| 番号 | 機 能 | 番号 | 機 能 |
|---|---|---|---|
| 1 | 赤映像信号入力 | 9 | +5V |
| 2 | 緑映像信号入力 | 10 | GND |
| 3 | 青映像信号入力 | 11 | N.C. |
| 4 | N.C. | 12 | DDCデータ |
| 5 | GND | 13 | 水平同期信号用入力 |
| 6 | 赤映像信号用GND | 14 | 垂直同期信号用入力 |
| 7 | 緑映像信号用GND | 15 | DDCクロック |
| 8 | 青映像信号用GND | | |

## ■ DVI-D入力端子のピン配列

（DVI-D24ピン）

| 番号 | 機 能 | 番号 | 機 能 |
|---|---|---|---|
| 1 | TMDSデータ2− | 13 | N.C. |
| 2 | TMDSデータ2+ | 14 | +5V |
| 3 | TMDSデータ2/4シールド | 15 | GND |
| 4 | N.C. | 16 | ホットプラグ検知 |
| 5 | N.C. | 17 | TMDSデータ0− |
| 6 | DDCクロック | 18 | TMDSデータ0+ |
| 7 | DDCデータ | 19 | TMDSデータ0/5シールド |
| 8 | N.C. | 20 | N.C. |
| 9 | TMDSデータ1− | 21 | N.C. |
| 10 | TMDSデータ1+ | 22 | TMDSクロックシールド |
| 11 | TMDSデータ1/3シールド | 23 | TMDSクロック+ |
| 12 | N.C. | 24 | TMDSクロック− |

## ■ パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM、Energy Starに準拠しています。本機のパワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピュータも同規格に適合している必要があります。

DPMS：Display Power Management Signaling

| DPMSモード | 画面 | 消費電力 | 水平同期 | 垂直同期 |
|---|---|---|---|---|
| ON STATE | 表示 | 123W | あり | あり |
| STANDBY | 無表示 | 2.5W | なし | あり |
| SUSPEND | | | あり | なし |
| OFF STATE | | | なし | なし |

DMPM：Digital Monitor Power Management

| DMPMモード | 画面 | 消費電力 |
|---|---|---|
| Monitor ON | 表示 | 123W |
| Active OFF | 無表示 | 2.5W |

Energy Star：

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

## ■ DDC（プラグ＆プレイ）

本機は、VESAのDDC（Display Data Channel）規格をサポートしています。
DDCとは、モニターとコンピュータのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータがDDCに対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

**IT-26M1は、家庭系パソコンリサイクル対象製品です。**
《排出時の連絡先》
シャープ(株)PCリサイクルセンター
0120-845-530　FAX 0743-55-6620
ホームページ http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/homepc/
受付時間：午前9時〜午後5時(月曜日〜土曜日)
日曜日、祝日、年末・年始など弊社休日は休ませていただきます。
※フリーダイヤルについて：携帯電話・PHSからはかけられません。一般の電話でおかけください。
※電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。

**● 製品についてのお問い合わせは‥**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **お客様相談センター** | 東日本相談室 | TEL **043-299-8021** | FAX **043-299-8280** |
| | 西日本相談室 | TEL **06-6794-8021** | FAX **06-6792-5993** |

《受付時間》　月曜〜土曜：午前9時〜午後6時　日曜・祝日：午前10時〜午後5時　(年末年始を除く)

**● 修理のご相談は‥**　71ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

**● シャープホームページ**　http://www.sharp.co.jp/it-tv/

(2004年11月現在)

**シャープ株式会社**

**本　社**　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
**情報通信事業本部**　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in China
561530040003
0LTCY30040003 ①